環　境　経　済　部

環　境　政　策　課

生　活　環　境　課

農　　　林　　　課

観　光　商　工　課

観光まちづくり活動課

環境政策課　環境政策係

1　環境施策推進事業

あきる野市環境基本計画に基づく環境施策の推進や、市民、市内事業所への環境対策の普及啓発事業を実施した。

（１）あきる野市環境審議会の運営

環境政策にかかる計画、報告書等について審議する。

審議案件がなかったため、開催なし。

（２）あきる野市都市環境審議会の運営

都市環境に重大な影響を及ぼすと考えられる案件を審議する。

諮問案件がなかったため、開催なし。

（３）あきる野市環境委員会の運営

あきる野市環境基本計画に掲げる事業の進捗状況の点検評価や、市、市民及び事業者の協働による取組の企画並びに推進を行った。

開催日	内容
平成２５年　４月２２日	会議 1　平成２４年度実績報告及び平成２５年度スケジュールについて 2　グリーンカーテンコンテストについて 3　あきる野市リサイクルフェアにおけるゴーヤの苗・種の配布について
平成２５年　５月１８日	あきる野市リサイクルフェア（環境啓発コーナー）参加 1　グリーンカーテン用のゴーヤの苗・種の配布 2　グリーンカーテン啓発チラシ等の配布
平成２５年　６月１８日	会議 1　環境基本計画施策進捗状況の点検について 2　環境基本計画改定に向けての意見・提案・要望の提出について
平成２５年　７月２３日	会議 グリーンカーテンコンテストの審査方法について
平成２５年　８月　５日 ～　８月　８日	グリーンカーテン啓発事業の実施 グリーンカーテンコンテスト申込箇所の現地確認
平成２５年　８月２１日	会議 1　環境基本計画施策進捗状況の点検評価について 2　環境基本計画に対する環境委員会からの提言について 3　グリーンカーテンコンテストについて
平成２５年　９月　３日 ～　９月　６日	グリーンカーテン啓発事業の実施 グリーンカーテンコンテストの審査
平成２５年　９月　９日	会議 1　グリーンカーテンコンテストの審査について 2　環境白書について

平成２５年１０月３０日	会議 1　委員長及び副委員長の選出について 2　あきる野市産業祭における「環境展」の出展について
平成２５年１１月　９日 ～　１１月１０日	環境展（あきる野市産業祭エココーナー）参加 1　グリーンカーテンコンテスト結果等の展示 2　「ゴーヤのれしぴ」の配布 3　ゴーヤ茶の試飲、ゴーヤジャム入りホットケーキの試食 4　エコドライブの展示 5　エコドライバー度チェックの実施 6　「わたしのエコドライブ宣言」の募集 7　外来生物対策の展示等
平成２５年１１月１０日	グリーンカーテンコンテスト入賞者表彰 （あきる野市産業祭会場）
平成２５年１１月２０日	会議 環境委員会の活動について
平成２６年　１月１６日	会議 環境委員会の活動について

業務委託

件　　名	内　　容	金　　額（円）
環境基本計画推進業務	1　あきる野市環境委員会運営支援 2　環境白書の作成支援	２，０３７，０００

（４）自然環境調査の実施

あきる野市環境委員会の下部組織としてあきる野市自然環境調査部会を組織し、各班において自然環境調査を行うとともに、保全に関する検討を行った。

ア　あきる野市自然環境調査部会の運営

開　催　日	内　　容
平成２５年　４月３０日	1　平成２４年度収支報告及び活動報告について 2　平成２５年度事業予算について
平成２５年　５月２８日	1　平成２５年度活動計画及び予算について 2　あきる野市内の希少種について
平成２５年　６月１４日	あきる野市内の希少種について
平成２５年　８月　７日	1　あきる野市内の保全したいエリアについて 2　あきる野市内の希少種について

イ　市民参加による調査の実施

自然環境調査の一環として、調査部会動物班主催で平井川において、市民参加の水生生物調査を実施した。

開　　催　　日	内　　　　　　　容
平成２５年　８月３１日	ガサガサで生き物調べ 1　調査箇所　平井川（新開橋下流） 2　参加者　　市民　３７人 3　調査概要　淡水魚をはじめ多くの水生生物を採取（確認後放流）し、種別の採取数を記録するとともに、調査員による解説等を行った。

業務委託

件　　　　　　名	金　　額（円）
自然環境調査業務	５６９，０００

（５）環境展（あきる野市産業祭エココーナー）の実施

市民への環境啓発のため、あきる野市環境委員会と共同で、あきる野市産業祭エココーナーにおいて、展示等を行った。

開　　催　　日	内　　　　　　　容
平成２５年１１月　９日 ～　１１月１０日	1　グリーンカーテンコンテスト結果等の展示 2　「ゴーヤのれしぴ」の配布 3　ゴーヤ茶の試飲、ゴーヤジャム入りホットケーキの試食 4　エコドライブの展示 5　エコドライバー度チェックの実施 6　「わたしのエコドライブ宣言」の募集 7　外来生物対策の展示等

（６）港区環境交流事業の実施

あきる野市と港区の子どもたちで、互いの異なる自然環境について理解を深めるため、交互開催で交流会を行っている。

今年度は、港区の環境に配慮した先進的な取組事例の見学や体験を行った。

開　　催　　日	内　　　容	会　　　場
平成２５年　７月２５日	「日本とドイツの環境にやさしい取組を学ぼう」 参加者 1　あきる野市　１０組２０人 （小学３、４年生と保護者） 2　港区　　　　１０組２０人 （小学３、４年生と保護者）	中央防波堤ごみ処理施設、ドイツ大使館

（７）グリーンカーテン普及事業の実施

省エネ対策や、夏の節電対策として効果のあるグリーンカーテンの普及啓発を行った。

ア　グリーンカーテン用のゴーヤの苗・種の市民配布

あきる野市リサイクルフェア会場内において、あきる野市環境委員会と共同で、ゴーヤの苗・種の市民配布を行った。

開　　催　　日	内　　　　　　容
平成２５年　５月１８日	あきる野市リサイクルフェア（環境啓発コーナー） ゴーヤの苗・種の配布 １　苗　９００ポット（１人3ポット、３００人） ２　種　３００袋　　（１人１袋（約１２粒入）、３００人）

イ　公共施設でのグリーンカーテンの実施

子どもたちをはじめ市民への普及啓発のため、市立小中学校、保育園等にゴーヤの苗・種を配布し、グリーンカーテンの実施を促進した。

ウ　グリーンカーテンコンテストの実施

市民、市内事業者への普及啓発の一環として、あきる野市環境委員会と共同でグリーンカーテンコンテストを実施した。

受賞者へは、平成２５年１１月１０日開催の、あきる野市産業祭会場にて表彰を行い、賞状と副賞を贈呈するとともに、取組内容（写真等）については、環境展（あきる野市産業祭エココーナー）、市ホームページ、市役所１階コミュニティホール、五日市出張所１階ロビーで展示した。

参　　加　　数	入　　　　　賞
１　住宅部門（個人）　１８件 ２　団体部門　　　　　９件	１　住宅部門（個人） 最優秀賞　１件、優秀賞　４件、特別賞　１件 ２　団体部門 最優秀賞　１件、優秀賞　２件

（８）エコドライブの推進

安全運転とともに、二酸化炭素排出量の少ない運転となるエコドライブの普及事業を実施した。

ア　「わたしのエコドライブ宣言」の実施

あきる野市産業祭エココーナーにおいて、エコドライブの展示及びエコドライバー度チェックを行うとともに、「わたしのエコドライブ宣言」により、エコドライブの実施を心がけていただける方に、車両貼付用エコドライブ啓発マグネットシートを配布した。

開　　催　　日	内　　　　　　容
平成２５年１１月　９日 ～　１１月１０日	あきる野市リサイクルフェア（環境啓発コーナー） １　エコドライバー度チェック実施者数　　１３４人 ２　「わたしのエコドライブ宣言」宣言者数　８６人

イ　普及啓発の取組

エコドライブの普及のため、庁用自動車にエコドライブ啓発ステッカーの貼付を行うとともに、市職員が市民の模範となるよう、給油時の記録の徹底による庁用自動車の燃費把握や、全職員対象のエコドライブセルフチェックを行った。

２　ふるさとの緑地に関する事業

豊かな緑を確保するとともに、良好な緑地環境を維持するため、あきる野市緑地保全審議会の運営、保存緑地の管理及び緑化指導等を行った。

（１）あきる野市緑地保全審議会の運営

緑の保全と緑化の推進に寄与する保存緑地の指定に関し、審議する。

審議案件がなかったため、開催なし。

（２）保存緑地制度の運用

保存緑地制度の運用により、市内の良好な緑の確保に努めた。

ア　保存緑地の管理

市の管理する保存緑地について、適正な状態を保持するため、剪定、整理伐採を行った。

業務委託

件　　名	内　　容	金　　額（円）
緑地等管理業務	剪定、整理伐採及び補修工事　５件	１，０３１，１００

イ　保存緑地補助金の交付

保存緑地に指定された樹林地及び屋敷林の管理に対する補助金を交付した。

件　　名	内　　容	金　　額（円）
保存緑地樹林地補助金	３箇所　　８，５８９㎡	１７４，５２０
保存緑地屋敷林補助金	１件	１０，０００

（３）緑化の指導等

ア　ふるさとの緑地保全条例に基づく指導

５００㎡以上の面積の敷地における建築物、工作物等の設置や、宅地造成その他土地の区画形質の変更の行為に対し緑化の指導を行い、届出書を受理した。

（ア）緑化計画書の届出　　９件

（イ）宅地造成等に関する届出　　６件

イ　工場立地法の届出

工場立地法による特定工場の新設や増設などに伴い、工場立地法及び工場立地法地域準則条例に基づき、緑地の確保等の指導を行い、届出書を受理した。

（ア）新設の届出　　１件

（イ）変更の届出　　１件

（４）横沢入里山保全事業

里山保全地域に指定されている横沢入地区の管理運営事業を実施した。

ア　横沢入里山保全地域運営協議会への出席

ボランティア、地域住民、農林業団体、東京都、市等で構成される協議会に参画し、管理運営に必要な協議を行った。

開　催　日	内　　容
平成２５年　６月２８日	1　平成２４年度活動報告及び平成２５年度活動計画について 2　渇水対策に係る一時取水堰について 3　立入り禁止看板の設置について 4　東沢広場の刈込について
平成２６年　３月１４日	1　平成２５年度活動報告及び平成２６年度活動計画について 2　渇水対策に係る一時取水堰について 3　立入り禁止看板の設置について 4　環境調査について

イ　拠点施設等の管理

東京都からの委託により、横沢入地区の拠点施設等の管理を実施した。

業務委託

件　名	内　容	金　額（円）
里山保全地域管理業務	1　利用者や自然環境の状況等の確認のための保守巡回 2　草刈・不法投棄物・一般ごみ回収などの保守管理	2，226，000
拠点施設管理・清掃等業務	1　拠点施設の入口及びトイレ等の開錠、施錠 2　施設内のトイレの清掃 3　施設内の清掃	856，872
浄化槽保守点検業務	1　浄化槽の維持管理 2　浄化槽の汚泥汲取り及び清掃	131，616
支障木伐採等業務	1　地区内の支障樹木、枝等の剪定及び伐採 2　ロープ柵の作成	275，206

3　生物多様性保全事業

市内の自然環境の保全と活用のため、あきる野市生物多様性地域戦略の検討を進めるとともに、生態系の保全のため、外来生物対策を実施した。

（1）あきる野市生物多様性地域戦略の検討

市民との協働により、独自性及び実効性のある戦略を策定するため、あきる野市生物多様性地域戦略策定検討委員会を組織し、検討を行った。

開　催　日	内　容
平成２５年　７月　５日	会議 1　役員の選出について 2　策定までのスケジュールについて 3　地域戦略の基本的事項について 4　生物多様性の現状と課題について
平成２５年　９月２０日	会議 1　生物多様性地域戦略の構成について 2　生物多様性の現状と課題、対応する既存施策について 3　望ましい将来像、地域戦略の基本方針及び目標の考え方について
平成２５年１１月１３日	会議 1　スケジュールの見直しについて 2　地域区分の考え方について 3　将来像の考え方及び目標設定について 4　望ましい将来像、地域戦略の基本方針及び目標の考え方について

平成２５年１２月１８日	会議 1　地域区分ごとの課題について 2　将来像の考え方について 3　主体ごとの役割について
平成２６年　１月２０日	現地視察 　秋川沿岸（六枚屏風岩付近）など
平成２６年　２月１０日	会議 1　重点施策について 2　推進体制について 3　地域戦略構成イメージについて
平成２６年　３月２７日	会議 1　理念について 2　各主体の役割について 3　施策の体系、重点施策について 4　種の保全に関する取組の追加について 5　地域別の取組について

業務委託

件　名	内　容	金　額（円）
生物多様性地域戦略策定業務	1　生物多様性の状況把握及び課題整理 2　生物多様性地域戦略策定検討委員会の開催支援 3　生物多様性地域戦略策定支援	５，４６０，０００

（２）外来生物対策の実施

生態系に被害を与えている外来生物（アライグマ、ハクビシン）について、あきる野市自然環境調査部会、森林レンジャーあきる野の調査結果及び市民目撃情報を基に生息場所を特定し、町内会・自治会、地権者等の協力のもと、市内全域で捕獲を行った。

実　施　日	内　容
平成２５年　４月　１日 ～平成２６年　３月３０日	1　実施箇所等 （１）ワナ設置候補地現地確認　２０自治会　４７箇所 （２）ワナ設置箇所　２０地区　４２箇所 ※１箇所について、１～３地点実施 2　捕獲実績 （１）アライグマ　２８頭 （２）ハクビシン　７頭

4　地球温暖化対策事業

あきる野市地球温暖化防止対策実行計画に基づく取組の推進、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく計画の検討を行った。

（１）地球温暖化対策地域推進計画の検討

市民や事業所の活動を含む、あきる野市全域の温室効果ガス排出量の削減計画として、地球温暖化対策地域推進計画の検討を行った。

（２）温室効果ガス排出量等の集計

あきる野市第二次地球温暖化防止対策実行計画に基づき、市施設の光熱水及び冷媒封入設備の状況、用紙購入量等の管理を行い、温室効果ガスの排出抑制を推進した。

業務委託

件　　名	内　　容	金　　額（円）
地球温暖化防止対策進行管理集計業務	温室効果ガスの総排出量その他環境負荷及び計画の目標の状況などの点検 １　本年度実績の調査 ２　前年度の実績値の全体集計 ３　課・施設別点検報告	９９５，４００

（３）第三次地球温暖化防止対策実行計画の策定

平成２５年度以降の市施設における温室効果ガス排出量の削減計画として、第三次地球温暖化防止対策実行計画を策定した。

策定に当たっては、平成２４年度に作成した地球温暖化防止対策実行計画（案）に国の動向などの最新の状況を反映した。

（４）新エネルギー・省エネルギー機器設置費補助金の交付

住宅用新エネルギー・省エネルギー機器の普及促進及び省エネルギーに関する意識の向上を図るため、住宅に機器を設置する者に対し、その費用の一部の補助を行った。

※ガス発電給湯器（エコウィル）及び燃料電池（エネファーム）の２機器についても補助を予定していたが、平成２５年度は申請がなかった。

機　　器	設置基数	補　助　金　額（円）
太陽光発電システム	２３	２，０１１，０００
太陽熱利用システム	２	４０，０００
ＣＯ２冷媒ヒートポンプ給湯器（エコキュート）	１０	３００，０００
潜熱回収型給湯器（エコジョーズ）	４	６０，０００

（５）省エネ推進の取組

省エネモニターに登録している市民の家庭のデータを基にした二酸化炭素排出量、省エネ型生活１０か条、環境家計簿の取組などを市ホームページ等で紹介し、市民の省エネに向けた意識啓発を図った。

ア　省エネモニターの推進

省エネモニターに登録し、データを提供していただいた市民の家庭（１３８世帯）について、月々の二酸化炭素排出量を計算したグラフ等を作成し、各家庭に送付するとともに、登録世帯の二酸化炭素排出量、各エネルギー使用量の平均値などを算出し、省エネモニターの方が実施している「私のひと工夫」と合わせて、市ホームページにより市民に周知した。

イ　省エネ型生活１０か条、環境家計簿の取組の推進

省エネの代表的な取組を示す「省エネ型生活１０か条」や、エネルギー消費量を入力することで、各家庭の二酸化炭素排出量を知ることができる「環境家計簿」の取組を市ホームページ等により周知した。

1　郷土の恵みの森づくり

郷土の恵みの森構想による地域との協働の森づくりとして、町内会・自治会が主体となり取り組んでいる昔道や尾根道の補修、景観の整備等を行う郷土の恵みの森づくり事業に対して交付金を交付した。

（1）昔道・尾根道補修等事業

町内会・自治会名	内　容	期間（年目）	距離（km）	階段（m）	標識（か所）	金　額（円）
深沢自治会	深沢大カシ・堀田尾根道整備事業	4	3.8	200	15	450,620
	大杉への探索路整備事業	1	0.6	100	7	158,200
戸倉東部自治会 戸倉西部自治会	日向峰道補修等事業	4	1.5	0	0	132,300
養沢自治会	サルギ尾根登山道補修事業	4	3.0	0	11	339,900
	大野道補修事業	1	1.4	200	2	287,200
三内自治会	天竺山周辺散策道整備事業	4	1.2	0	0	129,360
樽自治会	金比羅山接続登山道整備事業	3	0.6	50	5	71,760
高尾自治会	高尾神社周辺尾根道整備事業	3	1.2	150	6	129,960
菅生町内会	菅生南尾根周遊道整備事業	3	4.0	0	11	326,900
	菅生北尾根周遊道整備事業	4	3.8	0	13	277,520
合　計		—	21.1	700	70	2,303,720

（2）景観整備事業

町内会・自治会名	内　容	期間（年目）	金　額（円）
深沢自治会	深沢川周辺景観整備事業	4	300,000
	南沢地区景観整備事業	4	300,000
軍道自治会	軍道地区石原沢景観整備事業	4	300,000
	軍道地区まがめひろば景観整備事業	1	100,000
乙津自治会	乙津地区景観整備事業	3	300,000
落合自治会	加茂原周辺景観整備事業	3	300,000
青木平自治会	西青木平橋周辺景観整備事業	3	300,000
寺岡自治会	二反坂周辺景観整備事業	3	300,000
山下自治会	堂沢周辺景観整備事業	3	300,000
小机自治会	まいまい坂周辺景観整備事業	3	300,000
合　計		—	2,800,000

（3）イベントの実施

ア　講演会の開催

（ア）実施日　平成２５年９月２１日

（イ）場所　五日市出張所２階第４会議室

（ウ）内容　地域の方々と協働で森づくりを行いながら、あきる野の森を見続けてきた森林レンジャーあきる野が、メンバーそれぞれの視点から発見した、あきる野の自然を紹介する「森への誘い～森林レンジャーが見てきたあきる野の現状とその未来～」と題して講演会を行った。

（エ）参加者　４０人

イ　鈴木さんと歩く～謎のグミ御前への道～

（ア）実施日　平成２５年１０月２７日

（イ）行程　戸倉バス停～光厳寺～城山～グミ御前～荷田子

（ウ）内容　森林レンジャーあきる野が主催し、地域の歴史を研究している市民の協力をいただいて、光厳寺から荷田子までの山歩きツアー。口伝で残る歴史と自然について解説した。

（エ）参加者　１２人

ウ　森と人とけもののこと～自然を昔に戻す会を訪ねて～

（ア）実施日　平成２５年１１月１７日

（イ）場所　小宮地区

（ウ）内容　森と人とけものの昔からの係わり合いについて学ぶツアー。
森林レンジャーあきる野が見てきた「野生動物と人が暮らすあきる野の森」の今と昔を知る森歩きと、秋川の自然を昔の姿に戻すことを目指して様々な取り組みをしている「自然を昔に戻す会」の活動拠点を訪ね、炭焼きの作業体験を行った。

（エ）参加者　１８人（うち森林サポートレンジャーあきる野５人）

エ　森づくりサミットの開催

（ア）実施日　平成２６年３月２５日

（イ）場所　本庁舎　５０３会議室

（ウ）内容　郷土の恵みの森づくりに取り組んでいる町内会・自治会を対象に講演会を催した。

a　都市住民と森をつなげるプログラム（フジの森の取組について）
講師　特定非営利活動法人　フジの森事務局　小澤一雄氏

b　あきる野市の森の現状（協働の森づくりの現状について）
講師　森林レンジャーあきる野　杉野隊長

（エ）参加者　２５人

（４）みどり東京・温暖化防止プロジェクト（体験型一般公開講座）

オール東京６２市区町村共同事業の一環として「野生動物が暮らせる森づくり」ツアーを行った。

野生動物と人との棲み分けを目的とし、戸倉地区にある市有林において、痕跡から野生動物が暮らす森を伝え、森づくりの意識を共有した。その後、間伐の必要性と方法を説明し、間伐体験を行い、広葉樹の植樹を行った。

（５）みなとパートナーシップ環境展

港区で開催された「みなとパートナーシップ環境展」において、平成２５年１２月２１日にあきる野市の自然環境等に関するパネル展示を行うとともに森林レンジャーあきる野が「あきる野、森物語」と題して講演会を行った。

（６）その他の事業

新宿区で開催された環境月間イベントにおいて、平成２５年６月１日にあきる野市の自然環境等に関するパネルの展示及び１１月９日・１０日に開催したあきる野市産業祭において、森林レンジャーあきる野が調査を進めている市内の動植物や滝・沢、巨木などの地域

資源の写真展示を行った。

また、市内全小学校の校外学習に同行し、市内の自然環境、生物の多様性について解説した。

（７）郷土の恵みの森づくり事業基金

郷土の恵みの森づくり事業の持続的な展開に必要な財源を確保するため、「郷土の恵みの森づくり事業基金」を創設し、市民や都民、企業などからの寄附を積み立てている。この寄附をしていただいた方に秋川渓谷瀬音の湯の招待券を贈呈している。

また、サントリーフーズ㈱、新四季創造㈱及びあきる野市の三者の契約に基づき、秋川渓谷瀬音の湯に設置した清涼飲料水の自動販売機の売上金の一部を郷土の恵みの森づくり事業に指定寄附をしていただいている。

２　森林レンジャーあきる野

（１）森林レンジャーあきる野について

郷土の恵みの森構想に基づく森づくりをより具体的に進めるため、平成２２年５月に専門知識をもつ４人で組織する「森林レンジャーあきる野」を設置した。

森林レンジャーあきる野は、町内会・自治会が行う昔道や尾根道の補修、景観の整備等を地域と協働で実施している。また、登山道や山林地帯を巡視し、整備・補修するとともに、市内に生息する動植物の調査、滝や沢、巨木といった地域資源の掘り起こしなども行っている。さらに、地域の森づくりに関連した自然環境体験イベントの開催など、森とその周辺にある地域資源のもつ魅力を市内外に向けて発信している。

（２）活動状況

実　施　日	内　　容	備考
平成２５年　４月１６日	増戸小学校校外学習	
平成２５年　４月１８日	五日市小学校校外学習	
平成２５年　５月　３日	まいまいクラブ（自然体験）	２４人
平成２５年　５月１８日	大杉への探索路整備事業（深沢地区）	
平成２５年　５月２１日	屋城小学校校外学習	
平成２５年　５月２３日	拝島第２小学校校外学習	
平成２５年　５月２５日	深沢川周辺景観整備事業（深沢地区）	
平成２５年　５月２８日	東秋留小学校校外学習	
平成２５年　５月３０日	南沢地区景観整備事業（深沢地区）	
平成２５年　６月１５日	二反坂周辺景観整備事業（寺岡地区）	
平成２５年　６月２２日	東京都山岳連盟対応（川から見る生物多様性）	１７人
平成２５年　６月２２日	新宿の森イベント（戸倉盆堀地区）	
平成２５年　６月２５日	大杉への探索路整備事業（深沢地区）	
平成２５年　７月　７日	木こり講座（小宮ふるさと自然体験学校）	１５人
平成２５年　７月１１日	日向峰道補修等事業（戸倉地区）	
平成２５年　７月２０日	サポートレンジャー独自活動植樹地整備事業	
平成２５年　７月３１日	栗原市交流事業（寺岡地区において植樹）	
平成２５年　８月１７日	深沢川周辺景観整備事業（深沢地区）	
平成２５年　８月２０日	学生インターン研修対応（明星大学）	２人
平成２５年　８月２３日	市内小学校理科教員勉強会（森と川の案内）	２０人

平成２５年　９月　６日	一の谷小学校校外学習	
平成２５年　９月１０日	西秋留小学校校外学習	
平成２５年　９月２１日	講演会「森への誘い～森林レンジャーが見てきたあきる野の現状とその未来～」	４０人
平成２５年　９月１４日	まいまいクラブ（植樹事前講習）	６人
平成２５年　９月２２日	まいまいクラブ（自然体験）	２０人
平成２５年　９月２４日	多西小学校校外学習	
平成２５年　９月２５日	日向峰道補修等事業（戸倉地区）	
平成２５年１０月　３日	草花小学校校外学習	
平成２５年１０月　８日	前田小学校校外学習	
平成２５年１０月１２日	二反坂周辺景観整備事業（寺岡地区）	
平成２５年１０月１７日	南秋留小学校校外学習	
平成２５年１０月２２日	増戸小学校校外学習	
平成２５年１１月　２日	深沢川周辺景観整備事業（深沢地区）	
平成２５年１１月１０日	鈴木さんと歩く～謎のグミ御前への道～	１２人
平成２５年１１月１７日	森と人とけもののこと～自然を昔に戻す会を訪ねて～	１８人
平成２５年１１月２３日	Ｈ２５オール東京６２市区町村共同事業(体験型一般公開講座)「野生動物が暮らせる森づくり」	５人
平成２５年１１月３０日	東京都山岳連盟対応（野生動物と人の境界を見る）	１２人
平成２５年１２月２１日	みなとパートナーシップ環境展（パネル展示、講演会）	１４人
平成２６年　３月　８日	菅生北尾根周遊道整備事業（菅生地区）	
平成２６年　３月１５日	高尾神社周辺尾根道整備事業（高尾地区）	
平成２６年　３月２９日	菅生南尾根周遊道整備事業（菅生地区）	

3　森林サポートレンジャーあきる野

郷土の恵みの森構想の実現に向け、町内会・自治会との協働により、郷土の恵みの森づくりを進めるため、市職員及び市民等による「森林サポートレンジャーあきる野」が各町内会・自治会が行う尾根道の補修、景観の向上等の森づくり事業や各種の森づくりイベントなどの支援活動を行った。

（１）隊員の構成

ア　人数　　１２０人（平成２６年３月３１日現在）

イ　内訳

（ア）市職員　　７１人

（イ）市民　　２４人（うち企業１社２人）

（ウ）市民以外　２５人

（２）活動状況

実　施　日	内　　容	参加人数
平成２５年　５月１８日	大杉への探索路整備事業（深沢地区）	１０
平成２５年　５月２５日	深沢川周辺景観整備事業（深沢地区）	１３
平成２５年　５月３０日	南沢地区景観整備事業（深沢地区）	2
平成２５年　６月１５日	二反坂周辺景観整備事業（寺岡地区）	5

平成２５年　６月２２日	加茂原周辺景観整備事業（落合地区）	８
平成２５年　７月１１日	日向峰道補修等事業（戸倉地区）	１
平成２５年　７月２０日	サポートレンジャー独自事業（乙津地区）	１０
平成２５年　８月１７日	深沢川周辺景観整備事業（深沢地区）	１４
平成２５年１０月１２日	二反坂周辺景観整備事業（寺岡地区）	７
平成２５年１１月　２日	深沢川周辺景観整備事業	９
平成２６年　３月　８日	菅生北尾根周遊道整備事業	７
平成２６年　３月１５日	高尾神社周辺尾根道整備事業	１
平成２６年　３月２９日	菅生南尾根周遊道整備事業	４
合　　計		９１

４　森の子コレンジャー

森づくりの推進役である森林レンジャーあきる野と一緒に、あきる野の自然と文化を守り引き継ぎ、郷土愛を持った人材を育てることを目的に、第３期森の子コレンジャー（公募で募集した小学４年生から６年生までの２０人）が１年間活動した。

活動状況

実　施　日	内　　容
平成２５年　５月１９日	始動式、森の散策（小宮ふるさと自然体験学校周辺）
平成２５年　６月　９日	調査（痕跡、森、鳥、植物・昆虫）　（小宮地区）
平成２５年　６月２２日	「新宿の森・あきる野」下草刈り、ガイドツアー　（戸倉地区）
平成２５年　８月１１日	どんぐり豊凶調査（小宮地区）
平成２５年　９月２２日	自然体験（小宮地区）
平成２５年１０月１３日	どんぐり豊凶調査　（小宮地区）
平成２５年１１月　３日	前年度植樹したクマの森調査（第２期森の子コレンジャー）（小宮地区）
平成２５年１２月　８日	森の巡視、整備（小宮地区）
平成２５年１２月１４日	野鳥観察（秋川下流域）
平成２６年　１月１２日	ビオトープ作り　（小宮地区）
平成２６年　３月　９日	終了式（小宮ふるさと自然体験学校）
平成２６年　３月２３日	アニマルサンクチュアリ活動（間伐と植樹）　（戸倉地区）

５　小宮ふるさと自然体験学校の運営

平成２４年３月３１日をもって廃校となった小宮小学校を、地域や自然環境に対する正確な知識と地域や自然を大切に思う気持ちを統合させた環境教育の推進を図る拠点施設とするため、小宮ふるさと自然体験学校を平成２４年９月１日に開校した。

この小宮ふるさと自然体験学校を拠点として、各種の自然体験事業等を実施した。

（１）自然体験事業等

内　　　容	利　用　人　数 （平成２５年４月 ～平成２６年３月）
市内小中学校の自然体験事業	９１４
市外の学校の体験事業	３１３
市内の団体の自然体験事業 （のんきクラブ、まいまいクラブ、げんキッズ等）	９３９
市外の団体の自然体験事業（松本クラブ、リンゴの木等）	７１１
森の子コレンジャー	１８６
視察（首都大学）	５０
見学（校内見学）	３７４
合　　計	３４８７

（２）その他イベント等

内　　　容	利　用　人　数 （平成２５年４月 ～平成２６年３月）
イベントの実施（木こり講座）	２０
ふれあい交流事業	８０４
スポーツ開放事業（体育館） （小宮卓球クラブ等）	３１３
スポーツ開放事業（グラウンド） （グラウンドゴルフ、ガールスカウト等）	４４３
その他（自然体験事業下見、ＰＴＡ会等）	１１１７
合　　計	２６９７

６　産学公の取組

（１）産学公連携による森づくり

郷土の恵みの森構想等に基づき、菅生地区で取り組む森林の保全・活用及び地域の活性化についての調査・研究並びにこれらの活動及びその担い手の育成などについて、平成２３年７月１３日、「ＮＥＣフィールディング株式会社、明星大学及びあきる野市との連携による自然環境保全活動等に関する協定書」を締結し、産学公が連携して取組を進めている。

（２）あきる野菅生の森づくり協議会

協定書に基づく森づくりの取組を具体的に進めていくため、平成２３年８月８日、菅生町内会、明星大学、ＮＥＣフィールディング株式会社、あきる野青年会議所、特定非営利活動法人ふるさとの森づくりセンター及びあきる野市を構成員とする「あきる野菅生の森づくり協議会」が設置された。この協議会に、平成２５年度より西多摩マウンテンバイク友の会が構成員として加わり、菅生地区で取り組む里地活性化事業や里山活性化事業の検討を行い、各種事業を実施した。

開　催　日	内　　容
平成２５年　４月２３日	第９回協議会 １　平成２４年度事業報告について ２　平成２４年度決算報告について ３　平成２５年度事業計画（案）について ４　平成２５年度予算（案）について ５　その他

平成２５年　８月　９日	第１０回協議会 １　平成２５年度事業の実施状況（４月～７月）について ２　平成２５年度シンポジウムについて ３　平成２５年度の予算の状況について ４　その他
平成２５年１０月１８日	第１１回協議会 １　平成２５年度事業の予算の執行状況について ２　平成２５年度シンポジウムについて ３　その他

（３）里地活性化事業

ア　人材育成講座（農業）あきる野のうぎょう塾について

森づくりと連携した農業技術の継承や農業者の育成を図り、地域を活性化させるため、野菜を育てながら農業の基礎を学ぶ人材育成講座として前年度の受講者１９名と広報あきる野で募集した新規受講者５名を加えて実施した。

本講座は、昨年に引き続き地元菅生町内会に講師をお願いし、毎月１回（土曜日）、座学と実地を行い、毎週木曜日に畑での作業日を設けて作物の栽培を行った。

開　催　日	内　容
平成２５年　４月１４日	第１回 １　座学　畑の土づくりについての講義。 ２　実地　ネギの植え付けの実地指導、シュンギクやノラボウなどの収穫。耕作地の草取りなど。
平成２５年　５月１９日	第２回 １　座学　接ぎ木の効果や実施方法の講義。トマトやナスの植え付け方。 ２　実地　畝たてとマルチの仕方。トマト、ナス、キュウリの苗の植え付け。
平成２５年　６月１６日	第３回 １　座学　ナス、トマト、キュウリ、ニンジンの植え付け方などの講義。 ２　実地　ナスの花の見分け方。本支柱や仮支柱を行い、誘引の仕方。
平成２５年　７月１４日	第４回 １　座学　サトイモ、ゴボウ、ニンジン、トウモロコシなどの栽培のポイントや土づくりの裏技についての講義。 ２　実地　ジャガイモ、ナス、キュウリ、トマトの収穫。サトイモの土寄せ、畑の除草。
平成２５年　８月１８日	第５回 １　座学　ナス、ハクサイの栽培方法や注意点などのポイント、裏技などについての講義。 ２　実地　トマト、キュウリ、ナスの収穫。ハクサイの種まき。
平成２５年　９月２２日	第６回 １　座学　ダイコン、コマツナの栽培方法とそれぞれに適した土づくりと播種方法の講義。 ２　実地　タマネギ、ニンジン栽培のための畝作りと播種。周辺の雑草の除草。
平成２５年１０月　６日	第７回 １　座学　ブロッコリー、キャベツ、チンゲンサイの栽培方法についての土づくりと播種方法の講義。 ２　実地　ブロッコリー、キャベツ、チンゲンサイの栽培のための畝作りと播種及びニンジンの収穫。

平成２５年１１月１０日	第８回 １　座学　タマネギ、キャベツ、ブロッコリー、ミズナ、カブのそれぞれに適した土づくりと播種方法の講義。 ２　実地　以前定植したハクサイ、キャベツの生育状況の観察と害虫の駆除。 以前播種した葉物野菜類の生育観察。特にホウレンソウの生育状況が場所によって著しい変化が見られたので、ｐＨ計で土壌のｐＨを確認。
平成２５年１２月　８日	第９回 １　座学　ソラマメ、レタスのそれぞれに適した土づくりと播種方法の講義。野菜の保存方法について、種類ごとの注意点の講義。 ２　実地　サトイモ、ダイコンの収穫。ミズナ、コマツナなどの葉物野菜の冬越し（霜よけ）の準備。
平成２６年　１月１２日	第１０回 １　座学　冬場の土づくりの注意点や意義について講義。 ２　実地　畑の「天地返し」の体験及び葉物野菜の収穫。
平成２６年　３月　９日	第１１回 １　座学　おいしい野菜の見分け方について、サトイモ、サツマイモ、レタス、キャベツ、ハクサイ、ナス、トマト等を例に講義。 ２　実地　チンゲンサイ、ホウレンソウ、ミズナ等の収穫。耕作が終わった畑を耕運機で耕した。
平成２６年　３月２３日	第１２回 １　座学　ジャガイモ植え付け時の注意、栽培ポイント、おいしいジャガイモについての講義。 ２　実地　これまで栽培していたコマツナ、ミズナ、チンゲンサイ、ニンジンなどの収穫。 裏技を使ったジャガイモの植え付けを実施し耕作の終わった畑を耕運機で耕した。 ３　終了証の授与

イ　農産物の特産化について

高齢化や後継者不足等により耕作や手入れがされなくなった農地等を活用し、菅生地区の気候風土に適した農作物について、流通を意識して生産することにより、地域住民の連帯や経済的な助けとなるよう農産物の特産化に取り組んだ。

農産物の特産化として栽培に取り組んだトマト（フルティカ・モモタロウ）やキュウリ、ナス、ピーマン、ニガウリ、ブルーベリー、花ミョウガ、葉物やその他の１３品目の農産物を直売所等で販売し、どの野菜も評判がよく完売の状態であった。

項　目	内　容
トマト等野菜類	本格栽培を実施し、菅生の現地直売所等で販売した。
キノコ類	菅生若宮子ども体験の森（市有地）において、椎茸の栽培に取り組んだ。収穫したものは菅生の現地直売所等で販売した。
山　菜	ミョウガやコゴミ等を選定し、小規模試験栽培と販売を実施した。
ブルーベリー	遊休農地に植え付けを行い、収穫したものは菅生の現地直売所等で販売した。

（４）里山活性化事業

ア　ワークショップ（保全活動と育成）について

あきる野市が所有する菅生大沢地区の山林を豊かな里山へ再生するため、ワークショップ形式で利活用の検討を進めた。

開　　催　　日	内　　　容
平成２５年　５月２６日	第１回 明星大学による環境基礎ゼミ野外学習と共同で、大沢地区の草刈り、コナラ林内の低木の伐採を行い、林床部に太陽光が届くようにし、その他の植物の生育を促進した。
平成２５年　６月　８日	第２回 これまでのワークショップによる意見等を踏まえた土地利用（案）の説明。また、現地の状況確認をし、北尾根からのアプローチ道の場所やビオトープの整備位置の検討及び今後の定例活動日の検討などを行った。
平成２５年　９月　７日	第３回 大沢地区の状況の確認と休憩スペースの場所及び四阿予定地の選定を行った。また、クズなどの草の防除のため、木材チップの搬入やヤマザクラなどの実生木の確保について検討した。
平成２６年　２月　１日	第４回 四阿には以前皮むきしたヒノキを材として使用すること、樹林地の林床についてはヒサカキの伐採を優先して行うこと、今後のワークショップは大沢での作業を中心とすることを確認した。また、東京都農林水産振興財団の助成事業についての説明。

イ　自然環境教育について

体験事業や講座を通じて、森づくりや自然環境保全等の担い手を育成するため、環境教育イベントを実施した。

（ア）里山の学校

開　　催　　日	内　　　容
平成２５年　８月４日	「ツリークライミングと森遊び」 森の中を散策し、キノコや植物などをいくつ見つけられるかのゲームを行なった後、ツリークライミングの体験をした。

（イ）木こり講座

開　　催　　日	内　　　容
平成２５年　７月　７日	第１回 里山の管理の方法として樹木の伐採や切り出した材を活用するため、チェーンソーの基本とメンテナンス方法について講座を行なった。また、チェーンソーの分解清掃や目立ての方法をチェーンソーを使って実習した。
平成２５年１１月１６日	第２回 里山管理のための実践活動を行なった。除伐から伐採までの一連の流れの説明を受け、実際に伐採を行った。伐採した樹木はシイタケのほだ木として切り出した。
平成２６年　３月１５日	第３回 伐採の応代編として、チルホールを使った伐採作業の講義と実践を行った。

ウ　菅生若宮子ども体験の森の管理

平成２４年度までは地元町内会長等によって組織された「菅生若宮子ども体験の森事業実行委員会」に業務委託していたが、平成２５年度からは「あきる野菅生の森づくり協議

会」の事業に統合した。

古くは、薪炭材として利用されていたコナラなどが、利用されなくなったことから大径木となり、枝折れが発生するなどしているため「木こり講座」において伐採を進め、萌芽更新を図っている。伐採した樹木はシイタケのほだ木として利用し、シイタケ栽培も行っている。

7　秋川流域ジオパーク推進会議

秋川流域は、緑と清流に恵まれ、歴史と文化が育まれた大地の中に、古生代から新生代にかけての８つの地層がまとまった形で分布しており、それぞれの地層からは、ステゴドンゾウをはじめ、海や陸に生きた生物の化石が数多く発見されていることから、化石の宝庫といえる全国でも有数な地域である。

このような貴重な大地と自然、文化を活用して、観光や商業など、地域の活性化を目指すため、秋川流域市町村が連携して設置した「秋川流域ジオパーク推進会議」により、日本ジオパーク認定に向けた取組を進めた。

（１）秋川流域ジオパーク推進会議の開催

秋川流域ジオパーク構想を推進するため、秋川流域ジオパーク推進会議を開催した。

開催日	内容
平成２５年　５月２１日	第１回推進会議 １　役員の選任について ２　平成２４年度活動報告及び決算報告について ３　平成２５年度活動計画（案）及び予算（案）について ４　今後の活動について
平成２５年１２月２０日	第２回推進会議 １　平成２５年度活動内容の変更について ２　視察研修について ３　その他

（２）人材育成講座の開催

日本ジオパーク認定には、ジオサイトを案内するガイドが必要となることから、ガイドの育成を目的に、講座を開催した。

開催日	内容
平成２５年　８月１３日	秋川流域ジオパーク構想・実施計画について 講師：推進会議代表　長田敏明氏
平成２５年　９月１０日	秋川流域の自然環境について 講師：推進会議代表　長田敏明氏
平成２５年１０月　８日	秋川流域の地形・地質について 講師：推進会議代表　長田敏明氏
平成２５年１１月１２日	秋川流域地球史について 講師：推進会議代表　長田敏明氏
平成２５年１２月１０日	秋川流域の歴史について 講師：推進会議代表　長田敏明氏
平成２６年　１月２１日	秋川流域の瀑布について 講師：推進会議代表　長田敏明氏
平成２６年　２月１８日	東京の水循環について 講師：推進会議委員：飯田輝男氏
平成２６年　３月１８日	秋川流域の化石について 講師：推進会議代表　長田敏明氏

（３）イベント・視察研修

流域住民への周知を図るため、行政主催の各種イベントに参加するとともに、推進会議委員の知識の向上を図るため、先進地の視察を行った。

開　　催　　日	内　　容
平成２５年　７月２４日	下仁田ジオパーク視察 日本ジオパーク認定に向けての取組を推進するため、先進地を視察した。
平成２５年 ８月１７・１８日	払沢の滝ふるさと夏まつり 秋川流域ジオパークの取組をＰＲするため、秋川流域ジオ資源資料展示を行った。
平成２５年　８月２０日	日の出町ジオサイト視察 推進会議委員により日の出町に存在するジオ資源を視察し、知識の向上を図った。
平成２５年　８月３１日	あきる野ヨルイチ 秋川流域ジオパークの取組をＰＲするため、秋川流域ジオ資源資料展示及び化石鑑定を行った。
平成２５年　９月２５日	市内ジオサイト視察 市内の主なジオサイトを市民解説員の協力により視察し、知識の向上を図った。
平成２５年１１月　２日	日の出町産業まつり 秋川流域ジオパークの取組をＰＲするため、秋川流域ジオ資源資料展示を行った。
平成２５年 １１月９・１０日	あきる野市産業祭 秋川流域ジオパークの取組をＰＲするため、秋川流域ジオ資源資料展示を行った。
平成２６年　１月２８日	箱根ジオパーク視察 日本ジオパーク認定に向けて、広域での取組を参考とするため、先進地である箱根ジオパークを視察した。

（４）その他

秋川流域ジオパーク構想を市内外に発信するため、流域内の行政施設や観光施設等において、ポスターの掲示、あきりゅうジオ通信を配布した。

８　ホタルの里づくり

（１）ホタルの里づくり推進事業

ホタルが生息している地域の町内会・自治会が中心に行っている、河川の清掃などの保全活動やホタルの鑑賞会などの取組を支援した。

町内会・自治会名	団　体　名	金　額（円）
深沢自治会	深沢ほたるの会	５４，０００
雨間町内会	南郷用水ホタルの会	５４，０００
落合自治会	落合自治会ほたるの会	５４，０００
下引田町内会	一の谷地区ほたるの会	５４，０００
合　　　計		２１６，０００

（２）ホタル保全活動事業

圏央道のトンネル上部に設置された菅生公園内の管理及び水路の美化等によるホタルの保全活動について、「菅生ホタルの里づくりの会」に業務委託した。

ア　委託事業者　菅生ホタルの里づくりの会

イ　履行期間　　平成２５年４月１日から平成２６年３月３１日まで

ウ　委託料　　　６０，０００円

9　東京の森と木ＷＥＢサイト

東京都、八王子市、青梅市、あきる野市、日の出町、桧原村、東京都森林組合及び東京都農林水産振興財団により組織する「東京の森と木ＷＥＢサイト実行委員会」により、「森」と「木」をキーワードに、ＷＥＢサイトの運営を通じて多摩地域を中心とした様々なコンテンツを魅力ある情報として発信し、森づくり並びに森をステージとした商品やサービスを担う人々の営みを応援するとともに、森を元気にする行動を促進した。

負担金　　　　１２０，０００円

10　森っこサンちゃん

森っこサンちゃん

昭和６年に草花丘陵で発見されたトウキョウサンショウウオを自然環境保全の象徴とするため、そのキャラクターと愛称を公募し、平成２３年５月に「森っこサンちゃん」を決定した。このキャラクターを里山環境の保全や郷土の恵みの森づくりのＰＲ活動などに広く活用した。

平成２３年９月１４日付けで商標登録の出願を行い平成２４年４月２０日付けで「広告」と「自然体験等」の役務が登録された。また、森っこサンちゃんを広くＰＲするため、各種商品に活用していただくよう、あきる野市「森っこサンちゃん」の使用に関する要領を定め、これまでに１０個の商品等に活用されている。

生活環境課　生活環境係

1　本市には、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に関する事務の一部が委任されており、同条例に基づく工場の認可、指定作業場の届出及び地下水揚水施設の揚水量報告に係る指導等を行っています。

（1）工場設置及び変更認可件数の推移

種　類	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度
設置認可	4	1	2	3	2
変更認可	4	1	1	1	2

（2）指定作業場設置及び変更届出件数の推移

種　類	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度
設置届	1	1	2	4	6
変更届	1	1	1	2	1

（3）地下水揚水量報告書提出件数

工　場	6	指定作業場	5	その他	7	合計	１８

2　騒音規制法及び振動規制法により、特定施設の届出に係る指導を行っています。

（1）騒音規制法に基づく特定工場数と特定施設数　（単位：箇所）

種　別	秋川地区	五日市地区	合計
特　定　工　場	７０	５２	１２２
特　定　施　設	３６３	１８１	５４４

（2）振動規制法に基づく特定工場数と特定施設数　（単位：箇所）

種　別	秋川地区	五日市地区	合計
特　定　工　場	６０	２６	８６
特　定　施　設	２３９	１４９	３８８

（3）騒音規制法に基づく特定建設作業の届出数　１４件

（4）振動規制法に基づく特定建設作業の届出数　8件

3　公害に関する苦情

（1）苦情受付現象別件数

現　象	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度
悪　臭	１１	１６	１２
汚　水	1	1	1
騒　音	１０	１５	２０
ばい煙	0	3	0
粉じん	2	2	2
焼却行為	４０	２８	３１
その他	８０	９６	１０５
合　計	１４４	１６１	１７１

（2）発生源別・用途地域別苦情受付件数

公害種目＼用途地域		低層住宅	中高層住宅	住宅地域	近隣商業	商業	準工業	工業	工業専用	無指定	計
		受付									
発生源別	工　場	0	0	1	0	0	4	0	0	1	6
	指定作業場	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	建設作業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一　般	９８	7	5	1	0	1	1	0	５１	１６４
	計	９８	8	6	1	0	5	1	0	５２	１７１

（３）空き地の管理の適正化に関する条例に基づく事務

苦情受付件数	勧告件数	指導件数	草刈機貸出し件数
２６	0	２１	２６

4　環境調査

（１）秋川・平井川河川水質調査（年間４回実施の平均値）

地点・年度 ＼ 項目・単位		ＰＨ 水素イオン濃度	ＢＯＤ 生物化学的酸素要求量	ＳＳ 浮遊物質量	ＤＯ 溶存酸素量	大腸菌群数
		―	mg/l	mg/l	mg/l	MPN/100ml
西青木平橋	２４年度	7.4	<0.5	<1.0	11.7	1,020
（秋川）	２５年度	7.7	<0.5	<1.0	10.9	1,173
落合橋	２４年度	7.6	0.6	<1.0	11.5	
（秋川）	２５年度	7.7	<0.5	<1.0	10.6	
沢戸橋	２４年度	7.6	0.6	<1.0	12.0	
（秋川）	２５年度	7.9	<0.5	<1.0	10.9	
秋川橋	２４年度	7.7	0.6	<1.0	13.1	1,325
（秋川）	２５年度	8.2	<0.5	1.3	11.0	1,033
天王沢	２４年度	7.6	0.6	<1.0	11.4	
（秋川合流点）	２５年度	7.4	<0.5	<1.0	10.6	
三内川	２４年度	7.9	<0.5	<1.0	12.1	
（秋川合流点）	２５年度	7.5	<0.5	<1.0	10.4	
清水荘前	２４年度	7.8	<0.5	<1.0	11.9	
（秋川）	２５年度	8.1	<0.5	<1.0	11.3	
引田堰	２４年度	7.7	<0.5	<1.0	11.2	2,500
（秋川）	２５年度	7.9	<0.5	<1.0	11.2	1,975
秋留橋	２４年度	7.6	<0.5	<1.0	11.4	
（秋川）	２５年度	7.8	<0.5	<1.0	10.5	
東秋川橋	２４年度	7.8	0.6	<1.0	12.7	1,450
（秋川）	２５年度	7.8	0.6	1.3	10.8	1,350
舞知川	２４年度	8.1	0.6	2.3	10.9	
（秋川合流点）	２５年度	7.9	0.6	1.8	10.2	
高橋上流	２４年度	7.3	0.7	<1.0	11.3	595
（養沢川）	２５年度	7.6	<0.5	<1.0	10.3	410
五日市解体下	２４年度	7.2	0.7	<1.0	11.4	790
（養沢川）	２５年度	7.8	<0.5	<1.0	9.8	790
小宮小前	２４年度	7.5	0.5	<1.0	11.7	
（養沢川）	２５年度	7.9	<0.5	<1.0	10.7	
観音橋	２４年度	7.9	<0.5	<1.0	11.7	1,575
（平井川）	２５年度	7.8	0.5	<1.0	10.1	1,875
小宮久保橋	２４年度	7.8	<0.5	<1.0	12.6	
（平井川）	２５年度	7.9	0.6	1.5	10.2	
新開橋	２４年度	7.5	<0.5	<1.0	11.6	
（平井川）	２５年度	7.8	0.5	1.3	10.9	
多西橋	２４年度	8.4	0.7	<1.0	12.2	1,625
（平井川）	２５年度	7.9	0.5	<1.0	11.3	1,325
鯉川橋	２４年度	7.4	0.6	1.8	11.9	
（鯉川）	２５年度	7.7	0.6	1.5	10.5	
氷沢川ヒル橋	２４年度	7.7	0.7	2.5	12.2	
（氷沢川）	２５年度	7.8	0.7	3.0	11.2	
参考値（※）		6.5～8.5	2mg/l以下	25mg/l以下	7.5mg/l以上	1,000MPN/100ml以下

（※）参考値は河川Ａ類型（平井川）の環境基準値である。

（２）清流保全条例施行に伴う湧水及び合流点の水質分析調査（採取日 平成２６年２月２７・２８日）

項目・単位／調査場所	ＰＨ 水素イオン濃度	ＢＯＤ 生物化学的酸素要求量	全窒素	アンモニア性窒素	大腸菌群数
	－	mg/l	mg/l	mg/l	MPN/100ml
山田八幡神社裏	7.0	<0.5	5.41	0.02	13
真城寺	6.8	0.6	6.05	0.01	27
白滝神社	7.2	0.6	4.74	0.01	27
牛沼２８７	7.1	0.8	5.24	0.01	39
雨間６９８	6.9	<0.5	4.73	0.05	47
秋川グリーンスポーツ公園前	6.9	0.5	4.09	0.01	79
小川８２０	7.2	<0.5	7.57	0.01	46
平沢６１７	7.0	<0.5	5.93	0.01	46
広済寺付近	6.6	0.6	6.78	0.01	46
二宮お滝	6.6	<0.5	6.90	<0.01	46
二宮神社お池	6.5	<0.5	9.02	0.01	70
八雲神社	6.7	0.5	7.71	0.02	26
草花公園	6.7	0.5	5.40	<0.01	22
草花１１２７	6.5	<0.5	4.64	0.02	27
草花小学校西	6.9	0.8	4.29	0.02	46
菅生夫婦橋下	7.6	0.6	3.82	0.01	79
折立坂	7.5	0.5	5.70	0.02	47
南秋留小横	7.5	0.6	4.62	0.02	47
ミユキ組宿舎（西）	7.7	0.5	4.07	0.03	47
舞知川	7.7	<0.5	2.33	0.03	49
広済寺下	7.4	<0.5	5.91	0.03	70
玉見ヶ崎公園隣	7.3	<0.5	6.90	0.02	27
養沢川	7.9	<0.5	1.52	0.01	49
盆堀川	7.4	<0.5	3.63	0.04	27
入野沢	7.6	<0.5	1.71	0.08	79
北裏水路	7.4	<0.5	3.61	0.02	49
樽沢	7.3	0.7	2.62	0.03	49
宮の入沢	7.2	<0.5	1.80	0.01	49
横沢	7.3	<0.5	1.65	0.02	70
引谷川	7.5	<0.5	2.38	0.03	47
溝ッ堀	7.8	0.9	3.14	0.05	27
北川原	7.8	0.9	3.23	0.03	27
ふれあい橋	7.6	0.5	1.45	0.03	110
鯉川合流	7.0	0.6	2.47	0.01	70
氷沢川	7.4	0.9	1.77	0.02	70
新開橋下	7.3	1.6	2.59	0.01	49
参考値（※）	6.5～8.5	2mg/l以下	基準なし	0.1mg/l以下	1,000MPN/100ml以下

（※）湧水の環境基準がないため、河川Ａ類型（平井川）の環境基準値を参考値として記載する。

（３）地下水汚染調査（採取日　平成２５年４月１６日）

調査項目＼調査地点		草花１ 2672番地	草花２ 1837番地	野　辺 408番地	雨　間 652番地	渕　上 312番地	伊　奈 1133番地	留　原 83番地	環境基準 (水道水の水質基準)
トリクロロエチレン	平成２４年度	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.03mg/l以下
	平成２５年度	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
テトラクロロエチレン	平成２４年度	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/l以下
	平成２５年度	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
1,1,1-トリクロロエタン	平成２４年度	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	1mg/l以下
	平成２５年度	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	

（４）その他の水質関係調査

ア	工場等排水調査	年１回	６事業場
イ	ゴルフ場周辺水質調査	年１回	２箇所
ウ	秋川・平井川大腸菌調査（糞便性）	年１回	１１箇所
エ	多摩川及び関連河川水質合同調査	年２回	２箇所
オ	秋川・平井川水生生物調査	年２回	６箇所

（５）一般大気環境調査（ばいじん）　　（単位mg/m³）

調査地点	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度
屋城小学校	0.0111	0.0585	0.0447
農業会館	0.0123	0.0598	0.0386
一の谷児童館	0.0051	0.0387	0.0364
いきいきセンター	0.0046	0.0335	0.0319
阿伎留医療センター	0.0098	0.0453	0.0273
秋川給食センター	0.0066	0.0484	0.0602
秋川衛生組合	0.008	0.0533	0.0416
野辺地内	0.0061	0.0478	0.0375
草花地内	0.0056	0.0588	0.0389
あきる野市役所	0.0105	0.047	0.032
五日市センター	0.0162	0.0404	0.0239
留原自治会館	0.0045	0.0381	0.0198
五日市出張所	0.0117	-	0.0224
横沢クラブ	0.008	0.0267	0.0186
ファインプラザ	0.0104	0.0481	0.0383

*測定日：平成２６年１月２３日～２４日（２４時間）
*平成２４年度の五日市出張所については、改修工事中であったため測定していない。

（6）市内主要地点での二酸化窒素調査<簡易調査法（フィルターバッジ法）による>

（単位：ppm）

地　点　名	5 月	9 月	11 月	2 月	平均値
野辺交差点	0.019	0.021	0.016	0.023	0.020
小川交差点	0.019	0.028	0.016	0.024	0.022
二宮本宿交差点	0.019	0.025	0.017	0.026	0.022
氷沢橋交差点	0.015	0.020	0.013	0.022	0.018
菅生交差点	0.019	0.026	0.016	0.022	0.021
上菅生バス停	0.006	0.010	0.006	0.012	0.009
瀬戸岡交差点	0.018	0.027	0.017	0.026	0.022
西秋留交差点	0.015	0.018	0.014	0.020	0.017
秋川駅西踏切	0.024	0.029	0.017	0.023	0.023
油平交差点	0.020	0.028	0.018	0.024	0.023
秋留橋	0.023	0.032	0.019	0.024	0.025
渕上交差点	0.014	0.028	0.012	0.021	0.019
山田交差点	0.012	0.021	0.011	0.017	0.015
留原交差点	0.012	0.014	0.006	0.013	0.011
小中野交差点	0.010	0.012	0.008	0.014	0.011
十里木交差点	0.007	0.012	0.008	0.013	0.010
青木平橋入口	0.003	0.012	0.007	0.012	0.009
小宮小学校入口	0.003	0.005	0.003	0.007	0.005
五日市出張所	0.004	0.007	0.003	0.008	0.006
東町交差点	0.011	0.017	0.010	0.016	0.014
武蔵五日市駅前	0.014	0.017	0.011	0.022	0.016
小机バス停	0.016	0.024	0.015	0.026	0.020
季節の平均濃度	0.014	0.020	0.012	0.019	0.016

（7）大気中ダイオキシン類調査

（単位：ｐｇ－TEQ/㎥）

あきる野市役所	五日市出張所	環境基準
０．００７４	０．００８２	０．６０以下

*測定日：平成２５年８月１４日～２１日（１６８時間）

（8）その他の調査

ア　工場等臭気調査　　年１回　　４工場

イ　道路沿道環境調査　　年１回　　４地点（交通量、騒音調査）

ウ　採石場周辺環境調査　　年４回　　粉じん・重金属、二酸化窒素、交通量等の調査

エ　事業所関連環境調査　　対象事業所　３社（水質関係）

（９）光化学スモッグの状況　　　　　　　　　　　　　　　　（　）内は都内全域の件数（単位：件）

種　別	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	合計
学校情報	0 (0)	0 (1)	0 (1)	7 (12)	7 (13)	1 (1)	0 (0)	15 (28)
注意報	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (10)	3 (7)	0 (0)	0 (0)	8 (17)
警報	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

経年変化

年度	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
注意報発令回数	9	5	2	3	9	3	9	8

5　空間放射線測定

（１）定点測定

６箇所　　周辺を含め２０地点　　１２回測定実施（原則として月に１回）

（２）山間部測定（五日市地区）

８箇所　　１６地点　　１２回実施（月に１回）

（３）公共施設等測定（学校、公園等）

１１～１２月頃実施　　２５施設/４０地点　　除染基準超過なし

※除染基準：０．２３μSv／h

6　生活排水対策事業

（１）合併処理浄化槽設置事業補助金

人槽	設置基数	補助単価（円）	補助金額（円）
５人	9	４４４，０００	３，９９６，０００
６～７人	1	４８６，０００	４８６，０００
８～１０人	0	５７６，０００	0
１１～２０人	0	１，０９２，０００	0
合計	１０		４，４８２，０００

（２）既存単独浄化槽撤去補助金

区分	撤去基数	補助単価（円）	補助金額（円）
既存単独浄化槽撤去補助	1	９０，０００	９０，０００

7　環境啓発事業

廃食油からの石鹸づくり事業　　年間９回実施

1　ごみ処理事業

（１）ごみ収集実績

行政区域内人口	収集人口	収集量（ｔ）		収集日１日当り収集量（ｔ）	１人１日排出量（ｇ）	収集日数
81,874	81,874	燃やせるごみ	15,289	147.010	511.6	104
		燃やせないごみ	2,599	57.756	87.0	45
		資源	4,744	98.833	158.7	48
		内ペットボトル	120	1.165	4.0	(103)
		内小型電子機器	9	1.500	0.3	(6)
		有害ごみ	35	1.458	1.2	(24)
		粗大ごみ	670	6.837	22.4	(98)
		総量	23,337	311.894	780.9	197

ア　「行政区域内人口」及び「収集人口」は、平成２５年１０月１日現在である。

イ　（　）内の日数は、他の収集日と重なるため、収集日の合計には含めない。

ウ　平成２６年１月から新炉（ガス化溶融炉）稼動に伴い、分別方法を変更した。

（２）犬猫死体処理

（単位：頭）

区分	犬	猫	その他	合計
有料	48	28	8	84
無料	0	372	175	547
計	48	400	183	631

ア　飼主のいる場合は有料（１頭につき 2,200 円）。

イ　飼主不明の場合は無料。

（３）ごみ収集業者及び収集区域

業者	区域
島田産業（有）	小川・二宮・平沢・野辺・秋留・雨間・牛沼等
浦野産業（株）	菅生・草花・瀬戸岡・秋川・渕上・引田等
（株）鈴木商店	雨間・切欠・牛沼・菅生・大規模事業所
松村ダスト（有）	山田・伊奈・五日市・小中野・戸倉・乙津等

（４）粗大ごみ収集件数

業者	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月
島田産業（有）	415	565	471	443	564	365	532
浦野産業（株）	522	655	507	617	593	534	657
松村ダスト（有）	330	400	315	451	308	298	429
合計	1,267	1,620	1,293	1,511	1,465	1,197	1,618

業者	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
島田産業（有）	668	545	425	265	494	5,752
浦野産業（株）	589	609	573	268	666	6,790
松村ダスト（有）	338	359	247	236	282	3,993
合計	1,595	1,513	1,245	769	1,442	16,535

（５）生ごみ堆肥化処理機器購入費補助事業実績

器種		基数	補助金額（円）
生ごみ堆肥化容器（コンポスト容器）		16	33,800
内訳	地上据置き型	16	33,800
	土壌埋設型	0	0

（６）ＥＭ菌生ごみ処理容器貸与事業実績

ア　平成２５年度貸与数　９５世帯　　１８３個

イ　通算貸与数　２，３１３世帯　４，５４５個

（７）資源集団回収奨励金交付事業実績

回収量（kg）							
紙類	布類	鉄類	アルミ類	その他金属	ビン類	ビンケース	合計
1,945,326	0	30,653	31,888	372	34,060	620	2,042,919

登録団体数	実施回数	売上額（円）	奨励金（円）
109	813	2,751,307	24,548,529

（奨励金：紙類等取引料５，８３５，９７８円含む。）

（８）減免用ごみ袋交付事業実績

該当項目※１	A	B	C	D	E	F１	F２	G	H I	J	合計
減免世帯数	618	728	113	8	1,066	0	0	0	85	6	2,624
減免者数	0	0	0	0	0	609	99	1,240	0	0	1,948

※１

A　生活保護受給世帯

B　児童扶養手当受給世帯

C　特別児童扶養手当受給世帯

D　国民年金の遺族基礎年金受給者

E　６５歳以上のみの世帯で、前年度の住民税が非課税の世帯

F１
F２　常時紙おむつを使用している高齢者又は障害者（児）

G　常時紙おむつを使用している２歳未満児

H　身体障害者福祉法により１級又は２級の身体障害者手帳の交付を受けている方が属する世帯で前年度の住民税が非課税の世帯

I　東京都愛の手帳交付要綱により、１度又は２度の愛の手帳の交付を受けている方が属する世帯で前年度の住民税が非課税の世帯

J　精神保健及び精神障害者福祉に関する法律により１級の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方が属する世帯で前年度の住民税が非課税の世帯

（９）一般廃棄物処理手数料減免（雪害）

ア　カーポート　２１７件　３２５，５００円

イ　自転車置き場　１７件　２５，５００円

ウ　物置　１４件　２１，０００円

(10) ボランティア袋配布事業実績（１組１０枚）

番号	配布場所		可燃(大)	可燃(小)	不燃(大)	不燃(小)	合計
1	生活環境課	配布組数	657	99	212	72	1040
2	宿直室	配布組数	0	0	0	0	0
3	市民課窓口	配布組数	4	0	2	0	6
4	あきる野ルピア	配布組数	114	23	18	28	183
5	五日市ファインプラザ	配布組数	70	4	18	7	99
6	五日市出張所	配布組数	51	10	30	8	99
7	中央公民館	配布組数	5	0	4	0	9
8	いきいきセンター	配布組数	1	0	1	0	2
9	増戸会館	配布組数	0	0	2	0	2
10	西秋川衛生組合	配布組数	0	0	0	0	0
11	秋川衛生組合	配布組数	70	100	50	110	330
合計		配布組数	972	236	337	225	1770

(11) 廃棄物減量等推進員（ごみ会議）活動実績

ア　全体会議１０回開催

イ　へらすぞう発行１回

ウ　生ごみ減量ＰＲ

エ　生ごみ堆肥化講習会等

2　し尿処理事業

（１）し尿処理実績　（人口は平成２５年１０月１日現在）

行政区域内人口	収集人口	総収集量（kℓ）	１日収集量（kℓ）	１人１日排出量（ℓ）	収集日数
81,874	1,403	2,339	9.626	4.57	243

（２）し尿処理業者及び収集区域

業者	㈱スイーピングサービス	高木組	サンエー㈲	㈲五日市清掃	㈱多摩フレッサ
区域	二宮・草花等	野辺・代継等	雨間・瀬戸岡等	五日市・戸倉等	山田・伊奈等

3　し尿浄化槽清掃費助成事業

（１）し尿浄化槽汚泥収集実績　（人口は平成２５年１０月１日現在）

行政区域内人口	収集人口	総収集量（kℓ）	１日収集量（kℓ）	１人１日排出量（ℓ）	収集日数
81,874	6,760	3,817	15.708	1.55	243

（２）し尿浄化槽清掃費助成実績

予算現額（円）	助成総額（円）	件数
6,640,000	6,172,560	776

4　一般廃棄物処理手数料徴収事務

（単位：円）

区分	予算現額	調定額	収入額	不納欠損額	還付未済額	収入未済額
家庭ごみ	166,121,000	168,512,380	168,512,380	0	0	0
事業所ごみ	64,344,000	57,428,000	57,428,000	0	0	0
粗大ごみ	21,075,000	21,292,700	21,292,700	0	0	0
し尿	8,191,000	7,815,550	6,946,450	10,750	0	858,350
動物死体処理	143,000	184,800	178,200	0	0	6,600
合計	259,874,000	255,233,430	254,357,730	10,750	0	864,950

5　一般廃棄物処理施設見学

ごみ処理施設（西秋川衛生組合）

市内の小学校等２４団体６５５人が施設を見学した。

6　リサイクル関係事業

（１）第３６回あきる野市リサイクルフェア実施

ア　開催日　平成２５年　５月１８日　午前１０時～午後３時

イ　会場　都立秋留台公園

ウ　入場数　２，５００人（推定）

エ　内容

（ア）フリーマーケット

出店数　　　　　　　　１３８店（個人、団体）

（イ）リサイクル品（家具等）再利用コーナー

無料抽選会　　　　　品目２８点

（ウ）修理屋さんコーナー

a　包丁研ぎ　　　　　　５０件

b　おもちゃ修理　　　　１５件

（エ）資源集団回収団体表彰（優良３団体）

（オ）ごみ会議コーナー

生ごみ堆肥化講習会（３２人参加）

（２）第３７回あきる野市リサイクルフェア実施

ア　開催日　平成２５年１１月　９日　午前１０時～午後３時

イ　会場　　都立秋留台公園

ウ　入場数　１５，０００人（推定）

エ　内容

（ア）フリーマーケット

出店数　　　　　　　　１２５店（個人、団体）

（イ）リサイクル品（家具等）再利用コーナー

無料抽選会　　　　　品目４０点

（ウ）修理屋さんコーナー

a　包丁研ぎ　　　　　　４９件

b　おもちゃ修理　　　　２５件

（エ）展示コーナー

a　環境問題啓発絵画・ポスター作品展示

b　展示作品数　　　　　６００作品

（オ）環境コーナー

廃食油石けん　　１，５００個（無料配布）

（カ）ごみ会議コーナー

a　生ごみ堆肥化講習会　２９人参加

b　ごみ減量の啓発

7　環境衛生事業

（１）衛生害虫駆除

毛虫等の駆除を行う場所の該当がなかった。

（２）ハチ駆除

防護服の貸出し　５６件

（３）不法投棄防止パトロール事業

週２回（年間１０２日間）２人１組で市内を巡回し、パトロールと回収作業を行った。

ア　回収件数　１，１７２件

イ　回収量　　１２．７８トン

（ア）リサイクル法等対象投棄件数　　　４８件

家電リサイクル法４品目処理件数　４４件

パソコンリサイクル法品目処理件数　２件

自動車リサイクル法品目処理件数　　０件

処理不能件数　　　　　　　　　　　２件

（４）河川等清掃及び不法投棄ごみ収集

実施日	作業名	内容
平成２５年　５月２６日 ～２５年１２月　１日	あきる野市 一斉清掃	町内会・自治会、漁協（五日市地区）、ＰＴＡ等の協力により、春、秋の２回、市内各地の道路や河川等の清掃を実施した。 町内会・自治会参加人数 １　参加人員　第１回　１６，７１０人 　　　　　　　第２回　１５，３８７人 ２　ごみ収集量　第１回　２４．６０ｔ 　　　　　　　第２回　２４．１８ｔ
平成２５年　４月　１日 ～２６年　３月３１日	河川等ごみ収集	あきる野市シルバー人材センター等に委託し、河川等の投棄ごみを収集した。 委託延人員　　６８９人
平成２５年　４月１５日 ～２６年　３月　８日	団体による河川等清掃	市内小中学校ＰＴＡにより、河川等の清掃を実施した。 参加延人員　４，５５７人（うち河川は９２３人）

8　斎場事業

（１）火葬場使用状況　（単位：回）

市町村名	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
あきる野市	75	65	42	45	59	54	67	82	73	63	78	73	776
日の出町	26	20	18	13	24	11	21	24	22	24	23	19	245
檜原村	4	6	6	5	4	9	3	13	10	4	7	8	79
奥多摩町	0	14	9	10	11	17	17	13	11	8	8	16	134
組合外	14	15	14	15	11	10	10	6	9	11	7	6	128
合計	119	120	89	88	109	101	118	138	125	110	123	122	1,362

（２）斎場使用状況　（単位：回）

市町村名	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
あきる野市	17	14	13	15	17	26	20	19	25	17	26	19	228
日の出町	11	7	7	6	11	5	6	9	8	13	6	8	97
檜原村	0	0	1	2	0	1	0	2	2	1	2	2	13
奥多摩町	0	3	1	2	4	1	3	3	3	1	3	4	28
組合外	5	1	1	3	1	1	1	1	3	1	0	0	18
合計	33	25	23	28	33	34	30	34	41	33	37	33	384

9　家庭用小型焼却炉無料回収事業

ダイオキシン等を出さない適正なごみ処理を推進するため、家庭用小型焼却炉の無料回収（５基）を実施した。

農林課　農政係

1　農業総務事業

農業会館の利用実績について

施設区分	利用件数（延利用団体数）	使用料			
		徴収分		減免分	
		件数	金額（円）	件数	金額（円）
展示室	３８１	３７５	３２２，０００	６	２０，２００
会議室	１２７	１２４	１１６，８００	３	４，２００
研修室	１５	２	４，８００	１３	１４，０００
集会室	２１８	１５８	１６４，１００	６０	８１，０００
合計	７４１	６５９	６０７，７００	８２	１１９，４００

2　農業振興事業

（１）農業振興資金利子補給事業の利用状況

資金の用途	件数	貸付金（千円）	備考
農産物生産施設資金	０	０	パイプハウス、加工所
	２	４，８６０	
農機具購入資金	０	０	トラクター等
	２	３，４００	
合計	０	０	
	４	８，２６０	

※上段は平成２５年度貸付分、下段は総計

（２）市民農園貸付状況等

ア貸付状況

農園	区画数	貸付区画数	利用者数
上ノ台農園	４４	３９	２３
上ノ台第２農園	７６	６８	４７
上ノ台第３農園	３６	３２	２７
森ノ上農園	８６	８３	５２
合計	２４２	２２２	１４９

イ　利用者負担金　　１，６７１，６００円

ウ　技術指導

（ア）非常勤職員賃金　　８３７，７４０円（管理・指導　年間１５４日）

（イ）実地講習会

a　平成２５年４月２０日（夏野菜の植付けや管理等：参加者２５人）

b　平成２５年９月２８日（葉物野菜などの植付けや管理等：参加者２１人）

エ　農作物展示会

平成２５年１１月９・１０日（産業祭品評会々場）

（３）第１９回あきる野市産業祭

ア　開催日　　　平成２５年１１月９・１０日（土・日）

イ　農産物展示会　　　出品者８４人　出品点数４６４点

ウ　たい肥の無料配布　　　先着１５０人

エ　仔牛の写生会　　　参加者７２人

オ　のらぼう菜苗の無料配布　各日先着１００人

3　秋川ファーマーズセンター管理事業

指定管理者による管理

名　　　称	指定管理者	指　定　期　間	平成２５年度 利用者数
秋川ファーマーズセンター	秋川農業協同組合	平成２６年　４月　１日 ～平成３１年　３月３１日	３１３，３８８

4　有害鳥獣捕獲事業

農作物等に対する有害鳥獣等の捕獲の状況

実　施　期　間	獣　種	実　施　区　域	頭羽数
平成２５年　４月１４日 ～平成２６年　３月３０日	イノシシ	市内全域 （市街地を除く。）	１６頭
平成２５年　４月　３日 ～平成２６年　２月１３日	サル	五日市地区 （増戸・五日市・戸倉・小宮地区）市街地を除く。	３頭
平成２５年　４月　５日 ～平成２６年　３月３１日	ハクビシン、タヌキ、アライグマ	市内全域	１３３頭
平成２５年　４月　９日 ～平成２６年　３月３１日	カラス・キジバト・ドバト・ムクドリ・ヒヨドリ	秋川南岸・五日市地区 （雨間・切欠・増戸・五日市・戸倉・小宮地区、） 市街地を除く。	８６羽
平成２５年１０月１９日 ～平成２５年１１月１３日	スズメ	雨間・小川・南秋留・ 五日市地区	１９３羽
平成２５年　４月２０日 ～平成２６年　２月２３日	シカ	五日市地区 （戸倉・小宮・小中野）	１頭

5　獣害防止対策事業

（１）獣害防止警戒システム整備事業委託

ア　サルの追い払い

五日市地区（五日市・戸倉・小宮地区）２人　１５０日間

イ　東京都猟友会五日市支部　　　４，１９３，５７６円

（２）加害獣侵入防止対策事業

簡易電気柵購入（１０セット）　　　３６１，９９８円

（３）有害獣捕獲業務委託

ア　東京都猟友会五日市支部　　　２，８５０，０００円

イ　アニマルトラップ購入（２０個）　　２９２，４４２円

ウ　捕獲獣殺処分委託（８頭）　　　２００，０００円

エ　有害鳥獣捕獲支援事業

狩猟（わな）免許取得者への補助金　　４０，０００円（受験者４人）

（４）あきる野の農と生態系を守り隊事業補助金

ア　保険加入補助（３１件）　６５，４００円

イ　技能講習補助（　７件）　８６，１００円

ウ　新規銃所持補助（２件）　１３，６００円

エ　診断書料補助（　５件）　２３，０００円

オ　電気柵取得補助（１件）　１０，０００円

6　地域農政推進対策事業

認定農業者等担い手育成総合支援協議会

開　催　日	内　容
平成２５年１０月２２日	認定農業者等担い手育成総合支援協議会開催 １　平成２４年度事業報告について ２　平成２５年度アクションプログラムについて ３　平成２５年度事業計画について ４　農業経営改善計画認定審査について ５　認定農業者に対する独自支援策の検討について
平成２６年　３月　４日	認定農業者等担い手育成総合支援協議会開催 １　農業経営改善計画認定審査について ２　新規就農者提案型支援事業について
平成２６年　３月２４日	認定農業者等担い手育成総合支援協議会開催 「新規就農者提案型支援事業」について

7　畜産振興事業

（１）家畜環境衛生保全

（２）家畜公害防止奨励事業

農業振興会畜産部に対し、畜産公害防止のため薬剤購入補助を行った。

交付金額　　２２０，０００円

8　自然休養村事業

（１）戸倉運動場管理及び使用状況

利用件数 (利用団体数)	使用料			
	徴収分		減免分	
	件数	金額（円）	件数	金額（円）
１４１ （２９）	８９	２３６，８００	６０	６６，０００

（２）運動場整備委託

ア　草刈及び植木の剪定（４回／年）

イ　シルバー人材センター　１１３，９１５円

9　用排水路整備事業

用排水路清掃委託

（１）下代継用排水路　　（有）田嶋土建　２９４，０００円

（２）東郷前上流用水路　（有）田嶋土建　　６３，０００円

（３）小川久保用水路入口（有）田嶋土建　１０５，０００円

（４）小庄用水路　　　　（株）馬場組　　２９４，０００円

10　農業振興地域農用地除外事務

（１）件数　　　３件（３筆）

（２）面積　７２１㎡（軽微な変更含む。）

11　農業振興地域農用地証明書発行件数　３件

12　農業団体育成事業

（１）農業振興事業業務委託

あきる野市農業振興会　２，０００，０００円

（２）主な事業内容

ア　家畜疫病予防事業

法定伝染病予防対策として、次の予防接種を行い伝染病の発生を未然に防いだ。

（ア）ＩＢＲ予防接種

４酪農家の乳牛１４３頭に五種及び六種混合を接種した。

（イ）鶏のマレック・ニューカッスル病予防接種

２養鶏農家の１５，０００羽に接種した。

イ　畜産公害対策事業

公害防止薬剤

畜産経営が安心して営めるように、畜産農家（６戸）が希望する畜舎消毒用等の薬剤を一括購入し、ハエや蚊などの発生を軽減させ畜舎の環境衛生に努めた。

ウ　秋川とうもろこし栽培研究事業

品質の良いスイートコーンを消費者に提供するため栽培研究を行った。

品種比較調査

市内農家の圃場において試作品種の種を播き、平成２５年６月２６日に収穫して、外観・食味等の比較調査を行った。

エ　農業後継者育成対策事業

将来の農業のあり方・多様化した農業の諸問題について、農業後継者部が中心となって「魅力ある農業」の研究を行った。

（ア）意見交換会の実施

農業の諸問題について農業委員及び認定農業者と意見交換会を実施した。

（イ）家族交流会の実施

家族間の情報交換をするため、家族交流会を実施し交流を深めた。

オ　農畜産物生産技術育成事業

消費者のニーズに対応する安全・安心な多品目の農畜産物を生産するために技術の向上を目指した。

（ア）優良牛品種改良研究

泌乳能力の優れている種牛の凍結精液と輸入受精卵を利用し、品種改良による乳量増大を目指すことで経営の安定を図った。

（イ）先進地視察研修

ａ　そ菜部

平成２５年１１月２日に「東京都農業祭」に農作物の出品及び視察を行い、生産技術の向上を図った。

ｂ　果樹植木花部

平成２５年７月２日に、さいたま市北区の「盆栽美術館」、「大宮ぼんさい町」及び川口市「川口緑化センター 樹里安（道の駅あんぎょう）」「改良園」を視察。

平成２５年１０月９日に、千葉県幕張メッセで開催された「第３回国際農業資材ＥＸＰＯ」を視察した。

c　後継者部

平成２６年１月２２・２３日に静岡県の「ＪＡ富士宮」の直売所、また、愛知県の「ＪＡ愛知西」管内の２農家の圃場をそれぞれ視察した。

d　女性部

平成２６年３月５日に群馬県藤岡市にある「ららん藤岡」等を視察した。

e　スイートコーン部会

平成２５年１１月２０日に、茨木県の渡辺農事岩井農場を視察した。

カ　農家の生活改善等啓発事業

農業に従事する女性は、農業の担い手として、また、家庭生活や地域社会への参加など重要な存在となっている。このため、農家女性も農業振興対策や地域が抱える農業の課題解決に向け積極的に取り組みができるように視野を広げた。

（ア）産業祭に参加

平成２５年１１月９日・１０日の産業祭において、おやきを販売することにより、市民との交流を図った。

（イ）フォーラムに参加

平成２６年２月７日に開催された男女共同参画フォーラムに参加し見聞を広めた。

キ　農業振興対策事業

市農業の発展と都市との調和を考え、市民に「あきる野農業」をＰＲするとともに、農業者自身も幅広い知識を習得した。また、農業者相互の連携を密にすることにより農業振興を図った。

（ア）産業祭に参加

平成２５年１１月９日・１０日の産業祭において、あきる野市における農業の現状を市民に紹介するため、次のとおり実施した。

a　農産物品評会の開催

農産物の栽培技術及び品質の向上を目的として、市内の農産物を市民に紹介（４６４点）し、農業振興を図った。

b　仔牛の写生会

市民に畜産業についての理解を深めてもらうため、子供達を対象に仔牛の写生会を実施した。

c　農産物の即売

農産物品評会終了後、農産物を即売し、消費者への宣伝普及を行った。

d　のらぼう菜の苗配布

両日とも先着１００人にのらぼう菜の苗の無料配布を行い、特産品の宣伝、普及を行った。

e　たい肥の配布

たい肥（牛糞）を先着１５０人に無料配布し、市内で生産しているたい肥の宣伝、普及を行った。

（イ）先進地視察研修会の実施

農業振興会では、平成２５年８月２８日に、群馬県嬬恋村「群馬県高冷地野菜研究センター」を視察した。

（ウ）農業振興会だよりの発行

地域農業者の情報誌として、また、異種農業者（農業振興会各部）の連携を深めるため、平成２６年１月１日に「農業振興会だより」第１１号を発行した。

（エ）農業用資材の調査研究

地球規模の環境問題に対応するため、環境に優しい農業資材の調査研究のため「生分解性マルチフイルム」購入に際して一部助成をし、ゴミの減量に努めた。

13　田園景観保全事業

市内の水田にレンゲソウの種子を配布し、景観整備を行った。

14　農業経営基盤強化促進法による農地の利用集積事業

利用権の設定

（１）件数　　　　　６件（６筆）

（２）面積　８，３８４㎡

（３）契約期間　３年～５年

15　クマ出没対策事業

クマの人家付近への出没事例が増加していることを踏まえ、市民の安全確保と生物多様性の維持を図るため、平成２５年１０月１０日、五日市地域交流センターにおいてツキノワグマにかかる研修会を実施した。

農林課　林務係

1　市有林整備事業

市有林には、市が直接管理している森林と個人に貸し付けている森林があり、保育・管理、境界確認作業等を計画的に実施している。

（１）市有林境界調査

ア　面積　　　　　　１５．３６ha

イ　事業費　　１，０４５，２５４円

（２）市直営林の管理育成

ア　面積　　　　　　　２．５９ha

イ　事業費　　２，２２７，８８４円

施業場所	面積(ha)	内容	備考
あきる野市乙津地内	０．１５	草刈工	
日の出町幸神地内	１．５０	大刈工、つる切り、不良木整理、道刈	
あきる野市戸倉地内	０．９４	除伐、不良木整理、林内歩道整備	

（３）市有林契約更新

ア　乙種林　　４件

イ　丙種林　　１件

2　林道事業

林業生産基盤強化のため、林道の開設、改良を進めるとともに、市が管理する全１５路線で概ね 1 か月に一度は安全点検を行い、必要に応じて路側の草刈りや側溝の清掃等の維持管理を実施している。

工事件名	工事内容	工事費（円）
伝名沢林道改良工事	工事施工延長 L=57.6m 落石防止網設置工 A=630 ㎡ ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ設置工 L=52.3m	９，５１０，０００
南沢林道改良工事	工事施工延長 L=600.0m 橋梁改良工 ２箇所 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工 A=5483.0 ㎡	６２，７２０，０００ (内、翌年度繰越明許費 ３９，０６１，０００)
林道鍾乳洞沢線開設工事	工事施工延長 L=148.0m 補強土壁工 A=680.4 ㎡ ｺﾝｸﾘｰﾄ路面工 A=266.0 ㎡	５９，０００，０００ (内、翌年度繰越明許費 ３６，８００，０００)
林道南沢線開設工事	工事施工延長 L=305.4m ﾌﾞﾛｯｸ積工 A=161.6 ㎡ 補強土壁工 A=215.1 ㎡	２７，７００，０００ (内、翌年度繰越明許費 １７，２００，０００)
林道盆堀線開設工事	工事施工延長 L=189.0m ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ設置工 L=185.4m 補強土壁工 A=904.2 ㎡	４０，０００，０００
林道維持補修工事 （林道南沢線外３路線）	路面補修工・除雪工 1.0 式	２，９０９，０００

3　森林再生事業

木材価格の低迷等によって林業の採算性が低下し、手入れが行われず、荒廃が進んでいるスギ・ヒノキの人工林について、３割間伐及び眺望改善間伐を実施した。

現地確認実施

（１）協定書締結件数　　　　　　１３件

（２）実施面積　　　　　　５０．０６ha

（３）事業費　　２８，２９３，５０８円（東京都負担）

4　枝打ち事業

過去に森林再生事業（間伐）を実施した森林について、樹冠長の下部おおむね５０パーセントの枝打ちを行った。

（１）承諾者数　　　　　　　　　１４名

（２）実施面積　　　　　　１８．７０ha

（３）事業費　　３３，４０９，８６２円（東京都負担）

5　造林(保育）補助事業

林業振興策の一つとして、植栽時の森林育成に重要な下刈施業に対し、経費の一部を補助した。

現地確認実施

（１）実施面積　　　　　　　０．８２ha

（２）補助金額　　　　　２４，６００円

6　森林計画関係

（１）	森林整備推進協議会開催	1回
（２）	森林経営計画認定及び変更認定	8件
（３）	森林経営計画認定同意及び変更認定同意（属人計画）	3件
（４）	森林経営計画認定区域外伐採届（森林法第１０条の８）処理	２４件
（５）	森林経営計画認定区域伐採届（森林法第１５条）処理	３９件
（６）	保安林内間伐届（森林法第３４条）受理通知処理	8件
（７）	森林の土地所有者届出書受理及び通知	6件

7　採石事業関係

（１）採石生産量報告書受理件数　　２４件（２社）

（２）採石場パトロール　　　　　平成２５年１１月１４日実施（２箇所）

8　治山事業

（１）治山工事協議（現地確認）　　　　１２件

（２）治山工事に伴う測量設計（東京都施工）　3件

（３）治山工事（東京都施工）　　　　　2箇所（乙津地内１件・養沢地内１件）

9　みなと区民の森・みなと森と水ネットワーク会議

（１）	みなと区民の森調整連絡会	開催回数　１回
（２）	みなと区民の森環境学習（間伐体験・生き物観察）	開催回数１０回
（３）	みなと森と水ネットワーク会議	開催回数　５回

（４）みなとパートナーシップ環境展出展

ア　会場　港区立エコプラザ

イ　期間　平成２５年１２月　１日から平成２５年１２月２６日

（５）みなとモデル二酸化炭素固定認証制度事業者追加登録件数　　１件

（６）みなとモデル二酸化炭素固定認証書発行件数　　１件

10　新宿の森　あきる野

（１）「新宿の森　あきる野」下刈及びイベント　平成２５年６月２２日実施

（２）新宿区環境学習月間イベント展示会出展

ア　会場　新宿区立環境学習センター

イ　期間　平成２５年　５月２９日から平成２５年　６月　２日

（３）グレータートウキョウフェステェバル in２０１３参加

ア　会場　新宿御苑

イ　期間　平成２５年１０月　５日から平成２５年１０月　６日

11　サントリー天然水の森奥多摩

（１）展望箇所ベンチ改修	３基
（２）間伐作業	０．３２ha
（３）広葉樹林内整備	２．５５ha
（４）林内作業歩道新設	７８２．０m
（５）林内作業歩道改修	７６５．０m
（６）崩壊地枝打ち、植栽工	５０．０㎡

1　観光事業

（１）観光普及と宣伝事業

ア　大多摩Ｂ級グルメの実施

「食と観光」「地産地消」をテーマに大多摩観光連盟（あきる野市、青梅市、福生市、羽村市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町、山梨県丹波山村、小菅村で構成）がＢ級グルメ大会を実施した。

開催日	平成２５年５月２５日、２６日
場所	東京サマーランドファミリーパーク駐車場
内容	各市町村から３０品目のご当地グルメを出品
入場者数	約３０，０００人

イ　観光関係雑誌、新聞等による紹介・宣伝

各種行事及び市内観光施設等について雑誌等を利用し、紹介・宣伝した。

（２）観光客誘致促進事業（市後援事業）

ア　さくら観賞

開催日	平成２５年４月７日～１４日
場所	東京サマーランドファミリーパーク
内容	観桜場所の提供、飲食販売、観光物産品販売、郷土芸能上演
入場者数	２，４４８人

イ　第２９回あきる野映画祭

開催日	平成２５年７月２０日、２５日～２８日
場所	まほろばホール、秋川キララホール
内容	公募作品の上映、「五日市物語」・一般作品の上映
入場者数	延べ５，１１２人

ウ　和の響き　Ｗｉｔｈ　Ｊａｚｚ～あきる野の奏で～　ｉｎ　秋川渓谷瀬音の湯

開催日	平成２６年３月８日
場所	秋川渓谷瀬音の湯
内容	ケーナ演奏、物産・だんべぇ汁の販売及び観光案内
入場者数	延べ約４００人

2　観光施設美化整備事業

市内３１か所の観光用トイレの維持管理、清掃を各種団体等に委託して行った。

3　指定管理者による管理

施設名	指定期間	指定管理者	利用者数
秋川橋河川公園	平成２３年４月１日～平成２６年３月３１日	あきる野市観光協会	約８０，０００
第１水辺公園　リバーサイドパーク　一の谷			約　４，６００
第４水辺公園　秋川ふれあいランド			約１４，３００

4　地域産業活性化事業

地域経済力の強化を目指し、商工業、観光等すべての産業の効果的な振興を図るため、秋川駅北口地区を対象に組織をつくり、市民と協働で活性化事業を実施した。

秋川駅北口地区産業活性化戦略委員会

（１）会議　９回開催

（２）事業　イルミネーション設置

ア　設置場所　秋川駅北口駅前、マールボロウ通り、駅前大通り、秋留野広場
イ　点灯期間　平成２５年１２月８日から平成２５年１２月３１日まで

5　撮影支援事業

映画・テレビ・CMなどの撮影がスムーズに進行するための環境整備を整えるとともに、経済振興・誘客効果・地域の魅力を再認識するために、撮影を誘致及び支援した。

ロケ地等問合件数　　１０２件（内　撮影件数１６件）

6　商工業振興事業

（１）商工振興補助事業

ア　商工会補助事業

あきる野商工会　　　商工会事業補助金額　２５，６５０，０００円

イ　あきる野活力みなぎる交付金

（ア）住宅改修助成事業　　　商工会事業補助額　８，０００，０００円

個人住宅の改修工事等の一部を助成することで、事業者の利用促進とともに住民サービスの向上や地域資産の充実を図り、需要の喚起を促し、景気を刺激し、地域経済の活性化に寄与することを目的とした事業。

a　申請件数　　　　１６３件
b　完了済件数　　　１６３件
c　施工事業所数　　　５０社
d　総合計請負金額　２１２，１６２，１８２円
e　助成金額　　　　８，７９４，０００円

（イ）ご当地グルメ情報発信事業　　　商工会事業補助額　１，０００，０００円

ご当地グルメ発掘及び開発にかかる情報発信を行い、地域特性を内外に強く知らしめ、地域産業の更なる振興を図る。

a　大多摩Ｂ級グルメ大会、あきる野市産業祭等に出店
b　パンフレット、レシピカードを作成し各イベント等にて広報活動

ウ　商店街振興補助事業

（ア）商店街活性化支援事業　　　商工会事業補助額　５００，０００円

秋川キララホール前に特設テントを設置し、ＧＯＮ８バーガーの販売等のＰＲイベント「あきる野グルメ屋台」を実施。

（イ）商店街販売促進事業（東京都新・元気を出せ！補助事業併用、市補助含む）

区　分	商店会名	事業名	補助額（円）
イベント事業	あきる野商店会連合会	あきる野商店会連合会お花プレゼントセール	５０２，０００
		あきる野商店会連合会感謝祭	８５６，０００
	秋川駅北口会	北口フェスティバル	１，５２４，０００
		あきる野ウィンターフェスティバル２０１３	５７３，０００
	原店商店会	原店ナイトバザール	８７４，０００
		原店歳末セール	６６１，０００
	野辺商興会	ワッショイ・ワッショイセール	４０６，０００
	五日市商和会	お中元売出しと盆踊りの夕べ	５３６，０００
		歳末大売出し	４９４，０００
	多西商栄会	感謝セール	１５３，０００
		歳末感謝セール	１５３，０００
	雨間商興会	夏祭り	１４８，０００

		秋祭り	１５４，０００
	増戸商栄会	増戸ますます市	７８６，０００
	秋川駅南口商店会	サマーフェスタ	２０４，０００
		ウィンターフェスタ	２７４，０００
	二宮商栄会	歳末大感謝セール！	２３３，０００

エ　商店街装飾灯補助事業（装飾灯の維持管理経費に対する補助）

商店会名	単価（円）	基　数	補助額（円）
原店商店会	２，０００	ＬＥＤ　３３基	６６，０００
秋留台商店会	３，７８０	１６基	９６，１２０
	１７，８２０	２基	
東秋留北口商栄会	３，７８０	２０基	７５，６００
五日市商和会	２，０００	ＬＥＤ　８０基	１６０，０００

オ　夏まつり補助事業

開催日	平成２５年８月３日
場　所	ＪＲ秋川駅北口大通り周辺
来場者数	５３，０００人
補助額	２，０２５，０００円（第１１回あきる野夏まつり運営委員会補助）

カ　ヨルイチ補助事業

開催日	平成２５年８月３１日
場　所	檜原街道（ＪＲ武蔵五日市駅～小中野交差点）
来場者数	１５，０００人
補助額	５４０，０００円（第１１回ヨルイチ実行委員会補助）

キ　産業祭補助事業

開催日	平成２５年１１月９日、１０日
場　所	都立秋留台公園
来場者数	５２，０００人（１日目３１，０００人、２日目２１，０００人）
補助額	４，８１５，０００円（第１９回あきる野市産業祭運営委員会補助）

（２）中小企業振興資金融資及び利子補給事業

融資件数　２７件、融資額　１５９，０００千円

	利子補給件数	利子補給額（円）
上半期	５７	３２４，０５４
下半期	７１	３８４，３０４

（３）小規模事業者経営改善資金利子補給

	利子補給件数	利子補給額（円）
上半期	１８７	４，２３１，３０７
下半期	１９２	４，７３３，８２８

7　中小企業信用保険法の規定に基づく認定事業

業種関係認定（法第２条第４項第５号）　４７件

東日本大震災関係認定（法第１２８条第１項第１号、第２号）　０件

8　大規模小売店舗立地法に基づく届出

新規申請件数　０件　変更申請件数　０件

9　砂利採取法に関する意見調整

新規砂利採取件数　０件　継続砂利採取件数　０件

10　市民ローン貸付に伴う保証機関保証料補助

申請件数　１件　融資実行件数　０件

保証機関保証料　０円

11　消費者行政関係

（１）消費者相談　９３日　相談件数　１５４件

（２）消費生活講座

平成２５年度に５講座を開催した。

開催日	講座名	受講者（人）
平成２５年　8月２３日	夏休み子ども消費生活講座「重曹の力ってすごい！」	１８ （内、保護者３）
平成２５年１２月　３日	消費生活講座「上手な衣類のお手入れ術を学びませんか？～洗剤の実験もあります～」	２０
平成２６年　1月３０日	権利擁護事業講演会「住み慣れた地域で暮らし続けるために～見守りのポイント～」	８６
平成２６年　2月　６日	出前消費生活講座「健康食品は届いていませんか？」	１９
平成２６年　3月　７日	消費生活講座「２箇所縫うだけ！簡単かわいいエコバック作り」	１９

（３）消費者啓発

ア　産業祭会場での消費者被害防止パネル展示の実施

イ　成人式出席者への消費者被害防止啓発リーフレット（若者用）配布

ウ　啓発用リーフレットの市内全戸配布

配布時期　平成２６年３月

配布対象　市内全域の一般家庭（事業所併用家庭を含む）全戸

内　　容　消費生活相談窓口ＰＲ及び全年代への消費者被害防止啓発を目的とした内容

エ　消費者被害防止啓発用回覧板用板の作成及び配布

作成部数　３，０００部

配布開始　平成２６年３月

配布対象　町内会・自治会

内　　容　消費者被害の手口や対策の周知により消費者被害の防止を図る内容

オ　広報「あきる野」への消費生活情報掲載

「くらしの知恵袋～消費生活相談情報～」と題し、月１回、消費者被害防止や消費生活に資する情報を掲載した。

（４）西多摩地域消費者行政事務連絡会・西多摩地域広域行政圏消費生活相談広域連携連絡会議

西多摩地域８市町村（青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、奥多摩町、檜原村）における消費者行政の円滑な推進及び相談広域連携の円滑な運営を図ることを目的とした連絡会。消費生活講座の共同開催や消費生活相談の相互受付を実施している。

平成２５年度は連絡会４回、講座２回（テーマ：放射能と食の安全、マーマレード作りと食品添加物）を福生市にて開催した。

12　第１９回あきる野市民まつり実行委員会

（１）事務担当者会議　平成２５年６月２４日

（２）実行委員会　　　平成２５年７月１２日

13　労働行政関係

（１）あきる野ハローワーク求人情報コーナー

ア　来所者　２０，４５４人（求職者　２０，４１３人、求人者　４１人）

イ　就職者　　　　９５７人

（２）労働セミナー及び面接会

ア　中高年齢者再就職支援セミナー

開催日	テーマ	受講者数
平成２５年　７月３０日	効果的な再就職活動をするために	４６
平成２６年　１月２２日		３３

イ　ミニ面接会（ハローワーク青梅が実施）

開催日	参加企業数（社）	当日面接人数	採用人数
平成２５年　５月２４日	1	2	0
平成２５年　６月２１日	1	１２	2
平成２５年　７月３０日	2	3	0
平成２５年１１月２８日	1	8	1
平成２５年１２月　４日	1	4	1
平成２６年　１月１７日	1	4	2
平成２６年　１月２２日	2	5	2
平成２６年　２月２５日	1	1	0

14　五日市ひろば利用状況

使用料区分	使用料		使用日数	利用人数
	徴収分（円）	減免分（円）		
午前７時から正午まで	１２，８００	４６，４００	６２	２１，５８６
正午から午後５時まで	１６，０００	６２，０００	７８	
午後５時から午後１０時まで	０	１５，６００	１３	
合計	２８，８００	１２４,０００	１５３	

15　青梅線沿線地域産業クラスター協議会

ＪＲ青梅線、五日市線及び八高線沿線地域の企業を有機的なネットワークで結ぶ協議会。

運営協議会１回、事務局会議４回、ワーキンググループ２回開催

16　食品放射性物質検査事業

（１）食材中の放射性物質（セシウム１３４とセシウム１３７）の濃度を測定

（２）実施期間　　平成２５年４月１日から平成２６年３月３１日まで

（３）検査対象　　市内小中学校・保育園・幼稚園・認証保育所・農産物直売所

（４）検査検体数　１，０４３検体

（５）検査結果

ア　不検出　１，０４２件

イ　検出　　　　　１件（内、基準値以下１件、基準値以上０件）

※　検出限界値(各測定における検出可能な最小数値のこと)未満の場合には不検出となる。

観光まちづくり活動課　秋川渓谷観光係

1　観光事業

（１）観光普及と宣伝事業

ア　観光キャラバンの実施

ＪＲ中央線の駅頭において、観光パンフレット等の配布を協働により実施した。

（ア）第１回

開催日	平成２５年７月１８日
場所	ＪＲ吉祥寺駅、国分寺駅、立川駅
参加者	あきる野市観光協会、あきる野商工会、ＪＲ東日本八王子支社、秋川渓谷瀬音の湯など（１６人）
配布物	観光パンフレットなど（２，０００セット）

（イ）第２回

開催日	平成２５年１１月７日
場所	ＪＲ東京駅、新宿駅、立川駅
参加者	あきる野市観光協会、あきる野商工会、ＪＲ東日本八王子支社、秋川渓谷瀬音の湯など（１９人）
配布物	観光パンフレットなど（２，０００セット）

イ　観光ボランティアガイドの実施

武蔵五日市駅前において、土、日曜日・祝日の午前中、観光ボランティアガイドによる観光案内を実施した。

（ア）案内件数　８５組　７，４５０人（４月から１１月）※８月を除く

（イ）茨城県からの団体（鹿行法人会女性部会）へのガイドの実施

開催日	平成２５年１１月１３日
場所	市内各所（広徳寺・佳月橋・星竹みち・石舟橋・瀬音の湯）
内容	観光スポットの見学・体験など
参加者数	２７人（従事ガイド８人）

（ウ）予約コース「秋川渓谷紅葉めぐり」の実施

開催日	平成２５年１１月２４日
場所	Ａコース：武蔵五日市駅～秋川橋河川公園～広徳寺～佳月橋～星竹みち～徳雲院～龍珠院～西青木平橋～青木平橋～瀬音の湯（約１２ｋｍ） Ｂコース：武蔵五日市駅～秋川橋河川公園～広徳寺～佳月橋～星竹みち～石舟橋～瀬音の湯（約７ｋｍ）
内容	紅葉の秋川渓谷を観光ボランティアガイドの解説で巡る。
参加者数	２７人（従事ガイド１０人）

（エ）武蔵五日市七福神めぐりボランティアガイドの実施

開催日	平成２６年１月２日
場所	コース：武蔵五日市駅～大悲願寺～正光寺～下町地蔵堂～番場地蔵堂～玉林寺～光厳寺～徳雲院～瀬音の湯
内容	武蔵五日市七福神のコースを観光ボランティアガイドの解説で巡る。
参加者数	２３人（従事ガイド７人）

ウ　観光関係雑誌、新聞等による紹介・宣伝

各種行事、市内観光施設等について雑誌等を利用し、紹介・宣伝した。

メディア掲載・放映実績

各メディアに画像や原稿等の資料を提供することによって、掲載・放送された。

媒体	回数
ＴＶ	7
雑誌	9
フリーペーパー	3
会報誌	1
ＷＥＢ	7
新聞など	9
合計	36

No.	発行・放送年月	媒体	メディア名称・番組名称
1	平成 25 年 5 月	WEB	HONDA「ステップワゴンキャンペーン」
2	平成 25 年 5 月	TV	NHK「ひるブラ」
3	平成 25 年 7 月	TV	テレビ東京「L4YOU!（エル・フォー・ユウ）」
4	平成 25 年 7 月	TV	テレビ朝日「路線バスで寄り道の旅３」
5	平成 25 年 7 月	新聞など	日刊スポーツ「鮎釣り」
6	平成 25 年 8 月	TV	テレビ朝日「東京サイト」
7	平成 25 年 8 月	雑誌	角川マガジンズ「秋ウォーカー」
8	平成 25 年 8 月	新聞など	東京新聞「百日紅まつり」
9	平成 25 年 8 月	新聞など	東京新聞「ヨルイチ」
10	平成 25 年 9 月	TV	フジテレビ「ぶらぶらサタデー」
11	平成 25 年 9 月	雑誌	角川マガジンズ「ファミリーウォーカー」
12	平成 25 年 9 月	雑誌	昭文社「家族でお出かけ秋号」
13	平成 25 年 10 月	TV	TBS「サンデージャポン」
14	平成 25 年 10 月	新聞など	東京新聞「秋川渓谷ガールズキャンプフェス」
15	平成 25 年 10 月	WEB	パンフ Navi
16	平成 25 年 11 月	TV	日本テレビ「ZIP!」
17	平成 25 年 11 月	フリーペーパー	大多摩四季報・冬
18	平成 25 年 11 月	新聞など	あきる野便り 11 月号
19	平成 25 年 11 月	WEB	日本観光振興協会「紅葉最前線」
20	平成 25 年 11 月	WEB	日本気象協会「紅葉情報」
21	平成 25 年 12 月	雑誌	風景写真
22	平成 25 年 12 月	新聞など	東京新聞「武蔵五日市駅前イルミネーション」
23	平成 26 年 1 月	WEB	ゼンリン「いつも NAVI、他」
24	平成 26 年 1 月	新聞など	あきる野便り 1 月号
25	平成 26 年 2 月	雑誌	ぴあ「花の名所と植物園 2015」
26	平成 26 年 2 月	雑誌	ぴあ「東京ぴあ」
27	平成 26 年 2 月	フリーペーパー	大多摩四季報・春
28	平成 26 年 2 月	雑誌	三栄書房「大人の桜旅 2014」
29	平成 26 年 3 月	雑誌	角川マガジンズ「東京 Walker 多摩エリア合本」
30	平成 26 年 3 月	WEB	都建設局「さくらの名所」
31	平成 26 年 3 月	新聞など	あきる野便り 3 月号
32	平成 26 年 3 月	WEB	レッツエンジョイトウキョウ「つつじ特集」
33	平成 26 年 3 月	会報誌	JAF「JAFMate」
34	平成 26 年 3 月	雑誌	昭文社「家族でお出かけ 2015」
35	平成 26 年 3 月	新聞など	東京新聞「和の響き」
36	平成 26 年 3 月	フリーペーパー	JR 東日本「青梅・五日市線パンフレット春号」

（２）観光客誘致促進事業（市後援事業）

ア　武蔵五日市七福神めぐり

開催期間	平成２６年１月１日～平成２６年１月３１日
場　　所	五日市地区の寺院
内　　容	七福神のお寺を徒歩で廻る。
参加人数	約６００人

イ　都立小峰公園さくら祭り

開　催　日	平成２５年４月１３日、１４日
場　　　所	都立小峰公園（ふれあい広場、小峰ビジターセンター）
内　　　容	囃子、保育園児による出し物、和芸、フラダンス、食べ物屋台、のらぼう菜試食会、里山クラフト
参加者数	３，３４４人

ウ　秋川渓谷ガールズキャンプフェス

開　催　日	平成２５年１１月１６日、１７日
場　　　所	メイン会場：秋川橋河川公園 サブ会場：市内６か所のキャンプ場
内　　　容	イベント、ワークショップ、アウトドアグッズ紹介、地元名物販売
参加者数	４，００７人

エ　スペシャルＪＡＦデー

開　催　日	平成２６年３月８日
場　　　所	秋川渓谷瀬音の湯
内　　　容	秋川渓谷ＰＲ、観光ボランティアガイドによる案内、秋川渓谷物語認定商品の販売、森っこサンちゃんの出演、だんべぇ汁の販売、ＪＡＦ子ども安全免許証の発行
参加者数	５８５人

２　指定管理者による管理

施　設　名	指　定　期　間	指定管理者	利　用　者　数
秋川渓谷瀬音の湯	平成２４年　４月　１日 ～平成２７年　３月３１日	新四季創造株式会社	２５５，２２９

３　広域観光まちづくり事業

市町村実施事業

観光ＰＲポスターの作成

あきる野市・日の出町及び檜原村の共同事業として、３市町村の観光の魅力を紹介して誘客に結びつけるＰＲ用ポスターの秋号及び春号をそれぞれ８００部作成し、ＪＲ東日本八王子支社管内の主な駅及び市内各所に掲出・宣伝した。

４　地域産業活性化事業

地域経済力の強化を目指し、商工業、観光等すべての産業の効果的な振興を図るため、市民と協働で活性化事業を実施した。

五日市活性化戦略委員会

（１）会議　８回開催

（２）事業

ア　百日紅まつり

（ア）８月１日　点灯式（秋川渓谷ロゴ・マークお披露目式）

（イ）８月１日から９月８日まで　ソーラーライト点灯と百日紅（檜原街道沿い）のライトアップ

（ウ）８月１０日　流し踊り

イ　武蔵五日市駅前イルミネーション

（ア）１１月２９日　点灯式

（イ）１１月２９日から１２月３１日まで　ケヤキに設置したイルミネーションを点灯

５　ＳＮＳ（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用

（１）あきる野市観光情報 Facebook ページ統計データ

ア　期間：平成２５年４月１日～平成２６年３月３１日（３６５日）

イ　投稿回数：１３２回（１週あたり平均約２．５回投稿）

ウ　各投稿の平均閲覧回数：約２，９７６回（複数回閲覧者含む）

エ　各投稿の合計閲覧回数：３９２，８９４回（複数回閲覧者含む）

オ　各投稿の平均閲覧人数：約９８０人（ファン以外を含む）

カ　各投稿の合計閲覧人数：１２９，４０２人（ファン以外を含む）

※各投稿の平均及び合計の閲覧回数・閲覧人数は記事投稿当日の数字より算出

キ　ファン数：８９５人（平成２６年３月３１日現在）

※平成２５年４月１日時点は４３０人

（２）秋川渓谷 LINE@アカウント

ア　期間：平成２５年８月１日～平成２６年３月３１日（２４３日間）

イ　発信回数：９７回　※写真含む（１週あたり平均約２．８回発信）

ウ　各発信の平均閲覧回数：約１０３．０回（複数回閲覧者含む）

エ　各発信の合計閲覧回数：９，９９２回（複数回閲覧者含む）

オ　各発信の平均閲覧人数：約３７．２人

カ　各発信の合計閲覧人数：３，６１２人

※各投稿の平均及び合計の閲覧回数・閲覧人数は発信日の数字より算出

キ　友達数：８２４人（平成２６年３月３１日現在）※うち有効友達数６３２人

６　観光パンフレット等の作成

「東京のふるさと・あきる野」の魅力を市内外に発信するため、観光パンフレット等を作成した。

（１）秋川渓谷リーフレット：夏版１０，０００部、秋版７，０００部

（２）あるきたくなる街あきる野：５０，０００部（改訂・増刷）

（３）あきる野百景めぐりマップ：５０，０００部（改訂・増刷）

７　秋川渓谷ロゴ・マークの活用

「東京のふるさと・あきる野」の実現に向けた観光まちづくりの取組として、秋川渓谷を広くＰＲするため、秋川渓谷ロゴ・マークを定め、活用を図った。

（１）ロゴ・マークの使用承認

団体・事業者が商品等に掲載した。

ア　使用申請：７件

イ　使用承認：７件

（２）啓発用品の掲出・配布

ロゴ・マークを刷込んだ啓発用品を掲出・配布した。

ア　タペストリー：武蔵五日市駅～小中野交差点の檜原街道沿いに掲出

イ　のぼり旗・ミニのぼり旗：公共施設、観光施設等に掲出

ウ　ステッカー：イベント等で配布、市庁用自動車に貼付

エ　マグネットシート：市庁用自動車に貼付

8　秋川渓谷ブランディング研究会

「産・官・学」連携の取組として、地元事業者、市職員、首都大学東京の学生により、秋川渓谷のブランド化に向け、様々なワークショップや検討・研究を重ねた（全7回）。

1　戸倉小学校施設・地域検討会議関係

平成２４年度に引続き、地域の代表者等で構成する戸倉小学校施設・地域検討会議で戸倉小学校の活用方法の検討を行った。様々な角度から総合的な活用策を練るために、首都大学東京を加え、検討し、活用計画をまとめた。

戸倉小学校施設・地域検討会議　５回開催

	開　催　日	主　な　内　容
1	平成２５年　４月２５日	平成２５年度の進め方について、地域の要望について
2	平成２５年　７月３０日	地域の要望について、活用方法に関するワークショップ
3	平成２５年１１月　５日	地域の活動団体の聞き取り報告、廃校活用事例等の紹介
4	平成２６年　１月２７日	活用方針、活用計画、今後の検討組織について
5	平成２６年　３月２５日	活用報告書、平成２６年度以降の進め方について

2　軍道紙保存伝承事業

市の伝統工芸として伝えられる「軍道紙」の紙漉き技術を後世に残すため、手漉き和紙の伝統承継及びＰＲ活動を行った。

（１）小学校体験学習件数　３４校（市内４校、市外３０校）２，４３９人

（２）軍道紙保存会への保存伝承事業委託料　　６，４１３，４００円

（３）イベントにおけるＰＲ活動

	イベント名	開　催　日
1	大多摩Ｂ級グルメ	平成２５年　５月２５日、　５月２６日
2	東京多摩国体馬術リハーサル大会	平成２５年　６月１５日、　６月１６日
3	東京多摩国体馬術本大会	平成２５年１０月　３日～１０月　７日
4	あきる野市産業祭	平成２５年１１月　９日、１１月１０日

3　地域産業活性化事業

地域の特性を生かし、地域の方が将来に向けて、いきいきと暮らせ、市民等の癒しの場にすることを目的として、地域と協働で活性化事業を実施した。

養沢活性化委員会

（１）会議　１０回開催

（２）事業

ア　養沢紹介パンフレットの作成（１０，０００部）

イ　ライトアップ事業（地域内の桜、もみじをライトアップ）

ウ　景観整備事業（植樹、桜のてんぐ巣病を除去）

エ　果樹園整備事業（ブルーベリー畑の草刈、商品化の研究）

オ　ホタル繁殖事業（カワニナを増やす活動、ほたるの夕べ開催）

4　五日市物語事業

平成２１年度と平成２２年度の２か年をかけて、五日市を題材にして製作した映画「五日市物語」について、平成２３年度と平成２４年度は劇場で一般公開をした。平成２５年度は、映画「五日市物語」を観光資源の１つとして、平成２４年度から実施している五日市地域交流センター３階展示場での展示のほか、イベントでのＰＲ及び上映会を実施した。

（１）「五日市物語」展示場

ア　開 館 日　平成２５年４月１日から平成２６年３月３１日（年末年始を除く）

※平成２５年１１月３０日から五日市物語展示場の一部に「萩原タケ女史展」を開設

イ　来場者数　１２７人（平成２５年１２月１日～平成２６年３月３１日）

（２）映画「五日市物語」上映会

開 催 日	平成２６年３月８日
場　　所	ふるさと工房五日市
内　　容	映画「五日市物語」２回上映
参加者数	１回目３０人　２回目５１人

（３）イベントにおけるＰＲ活動

	イベント名	開　催　日
1	大多摩Ｂ級グルメ	平成２５年　５月２５日、　５月２６日
2	あきる野映画祭	平成２５年　7月２５日～　7月２８日
3	あきる野市産業祭	平成２５年１１月　9日、１１月１０日
4	スペシャルＪＡＦデー	平成２６年　3月　8日

5　ふるさと文化創生事業

豊かな自然や歴史に恵まれたあきる野は時代ごとに様々な分野で活躍する人々を輩出してきた。こうした地域が誇る先人たちの功績を広め、ゆかりの地を観光資源としてＰＲし、観光客の誘客につなげ、地域を巡り活性化に寄与することを目的にパンフレットを作成した。

（１）あきる野市ゆかりの人パンフレット

ア　作成部数　２０，０００部

イ　配布場所　市内公共施設、学校関係、観光案内所、町内会・自治会など

（２）五日市憲法草案ゆかりの地を巡るリーフレット

ア　作成部数　１０，０００部

イ　配布場所　市内公共施設、観光案内所など